

建設部

建設総務課
上高地対策課

課長 上條 裕久

事務事業評価票

事務事業名	県有料道路通行料金負担軽減事業
-------	-----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	県有料道路通行料金負担軽減事業

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～

三才山トンネルの無償化予定年度(H32年夏頃)及び平井寺トンネルの無償化予定年度(H30年8月)までの間に、県の助成金を活用した時間帯割引制度を導入し、利用市民の経済的負担軽減を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

(概要)
 県が制定した「長野県有料道路利用者負担軽減事業実施要綱」に基づき、「時間帯割引回数通行券」を市が購入し、市民に販売するもの
 (事業内容)
 県道路公社から市が通行券を購入 (6割)
 市の購入実績に応じて県が県道路公社へ負担額を支払う (2割)
 市が利用者に割り引いて販売 (5割)

<現状に対する認識>

時間帯割引回数通行券の購入者からは、三才山トンネルの更なる早期無料化を求める要望があることから、上田市、安曇野市とともに、早期完全無料化を県へ要望していきます。

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			○中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			②高次広範の観光戦略

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	県が実施する事業に対して、市が一部を負担し実施しているため、目標値の設定はできない。				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	44,061		42,400							
国・県										
利用者負担金	34,830		34,180							
その他										
一般財源	9,231		8,220							
② 人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工		人工		人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5						
嘱託	0		0							
合計コスト①+②	47,906		46,195							
前年度比	—		96.4%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	登記事務
-------	------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	登記事務費

< 事業の狙い > 事業計画年度 ~

・未登記市道の解消を図る。
 ・登記委託することにより、事務及び経費の効率が図れる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

・未登記道路について、地権者からの寄付を前提に分筆測量を実施し、所有権を市へ移転する。
 ・他課からの依頼による公有財産取得に伴う用地交渉や嘱託登記事務事業
 ・松本市土地開発公社登記事務委託をし、適正な公共事業用地等を確保するために、市の公有財産取得に伴う所有権移転登記を行う。

< 現状に対する認識 >

・未登記道路は立会い等に伴い発見されるため、業務量を事前に予測することは難しく、年度によって業務量の増減があるので、柔軟な対応が必要。

< 指標の達成状況 > 総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	未登記道路は、発生してからの対応となるため、目標値の設定が困難				
指標の設定理由	登記事務は、他課からの依頼によるものため、目標値の設定が困難				
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	4,350		9,290							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,350		9,290							
人件費(千円)	15,380	人工	15180	人工		人工		人工		人工
正規	15,380	2	15180	2						
嘱託	0		0							
合計コスト +	19,730		24,470							
前年度比	-		124.0%							

事務事業評価票

事務事業名	松本波田道路推進事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松本波田道路推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

28 ~ 38

松本波田道路の利便性向上及び地域活性化(企業立地、雇用の創出、周辺道路の渋滞緩和、緊急ネットワークの強化)を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

追加インターチェンジの設置検討
追加インターチェンジ 2か所(和田、新村)検討、調査、設計、用地・補償、工事

< 現状に対する認識 >

追加インターチェンジの設置に関する、松本波田道路への連結許可申請に向けた、国・県との協議を進める。

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	追加インターチェンジ設置事業進捗率(活動指標)				
指標の設定理由	成果は、供用後に発生するため、活動指標を目標値とする。				
目標値	2%	2%	3%	11%	17%
実績値	2%	2%			
達成度	100%	100%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	7,992	0			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,992	-			
人件費(千円)	6152	人工	6,072	人工	人工
正規	6152	0.8	6,072	0.8	
嘱託	0		0		
合計コスト +	14,144				
前年度比	-				

事務事業評価票

事務事業名	負担金 (道路建設及び整備)
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

利便性の向上のため、国・県事業の促進を図ることを目的に各種同盟会等を窓口として、国・県へ事業の進捗を働きかけるもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

道路の建設及び整備を促進するため、25の同盟会等に加え、国、県等への要望活動を実施しています。
 12団体で中央要望を、8団体で県要望を実施しました。
 本市が事務を担当する同盟会等は以下のとおりです。
 (1) 地域高規格道路松本系魚川連絡道路建設促進期成同盟会
 (2) 中部縦貫自動車道(松本～中ノ湯間道路)建設・国道158号整備促進期成同盟会
 (3) 中部縦貫自動車道建設促進長野・岐阜連絡協議会
 (4) 松本・佐久地域高規格道路建設促進期成同盟会
 (5) 国道143号整備促進期成同盟会
 (6) 国道19号松本拡幅建設促進連絡協議会
 (7) 主要地方道奈川木祖線整備促進期成同盟会
 (8) 長野県道路整備期成同盟会松塩筑地区会

< 現状に対する認識 >

・更なる事業進捗が図れるよう国・県への要望活動を実施していく

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	利便性の向上のため、国・県事業の促進を図ることを目的とした活動へ負担しているものであるが、事業主体の国・県から目標値が示されないが、指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	1,067		875		0		0		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,067		875							
人件費(千円)	26,915	人工	26,565	人工	0	人工	0	人工	0	人工
正規	26,915	3.5	26,565	3.5	0		0		0	
嘱託	0		0		0		0		0	
合計コスト +	27,982		27,440		0		0		0	
前年度比	-		98.1%		0.0%		#DIV/0!		#DIV/0!	

事務事業評価票

事務事業名	補助金(国道19号)
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

国が行う国道19号松本拡幅事業に対して、市の関連事業及び地元調整を行い事業の推進を図ります。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

民間団体と連携して、国道19号の円滑な事業促進を図るため、補助金を交付し、地元協議会が行う研究、調査、地元調整等の活動を支援しています。

< 現状に対する認識 >

・国道19号は、松本市の幹線道路の骨格を担っている、また、複雑な権利関係が多い路線でもあるため、地元協議会と引き続き連携しながら事業促進を図る。

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			高次広範の観光戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業進捗を図るための活動への補助金であるが、事業主体の国から目標値が示されないため、指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	350		350							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	350		350							
人件費(千円)	10766	人工	10,626	人工		人工		人工		人工
正規	10766	1.4	10,626	1.4						
嘱託	0		0							
合計コスト +	11,116		10,976							
前年度比	-		98.7%							

事務事業評価票

事務事業名	交付金 (中部縦貫自動車道建設事業)
-------	-----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	交付金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

国が行う国道及び高規格道路等の幹線道路の事業に対して、市の関連事業及び地元調整を行い、事業の推進を図ります。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地元4地区が設置する対策委員会で研究、調査、地元調整等の活動を支援することにより、中部縦貫自動車道建設事業の円滑な促進を図るため、交付金を交付しています。

- (1) 島立地区中部縦貫自動車道対策委員会
- (2) 和田地区中部縦貫自動車道対策委員会
- (3) 新村地区中部縦貫自動車道対策委員会
- (4) 波田地区中部縦貫自動車道対策委員会

< 現状に対する認識 >

中部縦貫自動車道(松本波田道路)の事業促進を図るため、地権者を含めた地元対策を進めていく。

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	08100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業の円滑な促進を図るため、地元で交付しているものであるが、事業主体の国から目標値が示されないため、指標の設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	200		100							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	200		100							
人件費(千円)	9,228	人工	9108	人工		人工		人工		人工
正規	9,228	1.2	9108	1.2						
嘱託	0		0							
合計コスト +	9,428		9,208							
前年度比	-		97.7%							

事務事業評価票

事務事業名	上高地対策事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	上高地対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

27 ~ 30

日本を代表する山岳景勝地である上高地を、全ての利用者が安全で安心して訪れることができるにするため、「上高地対策短期・中長期計画」に基づく対策事業を実施するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

・徳沢、横尾地区への管理用道路の調査
 新村橋～徳沢 L=1,000m
 新村橋～横尾 L=3,000m
 ・新村橋付近に恒久的な車道橋の計画調査
 車道橋 L=70m
 ・徳沢～横尾地区への電源供給施設、光ファイバーケーブル敷設の計画調査

< 現状に対する認識 >

・上高地対策については、管理用道路設置工事の早期着手に向けた、関係省庁との調整を更に進める。

部局名	建設部	課名	上高地対策課	課CD	08120000
-----	-----	----	--------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み			北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略			高次広範の観光戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	上高地対策事業進捗率(活動指標)				
指標の設定理由	成果は、供用後に発生するため、活動指標を目標値とする。				
目標値	1%	4%	8%	26%	57%
実績値	1%	3%			
達成度	92.8%	78.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	12,182		28,701							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	12,182		28,701							
人件費(千円)	6,152	人工	9,108	人工		人工		人工		人工
正規	6,152	0.8	9,108	1.2						
嘱託	0		0							
合計コスト +	18,334		37,809							
前年度比	-		206.2%							

事務事業評価票

事務事業名	負担金 (県の道路事業県管理道路)
-------	----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

県管理道路(国、県道)について、主要都市間道路ネットワークの整備により、渋滞対策、快適性、安全性の確保及び歩行者、自転車の安全対策等を図り、将来世代につなぐ総合的な道路整備を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

県が行う道路改良事業について、円滑な事業推進が図られるよう、関係者等との調整を行う。
道路法第52条により、県が行う街路の新設または改良する費用の一部を市町村で負担するもの。
対象路線
(1) (都)内環状南線
(2) (都)出川双葉線
(3) (都)松本駅北小松線
(4) (都)宮淵新橋上金井線
(5) (都)芳野双葉線

< 現状に対する認識 >

経済、文化、生活の基盤である街路整備の更なる促進に期待する

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		中部縦貫道などの、広域道路網の整備促進
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		高次広範の観光戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	県が行う事業費用の一部を負担するものだが、県から目標値が示されな				
指標の設定理由	いため、指標の設定が困難				
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	83,588		139,203							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	83,588		139,203							
人件費(千円)	10,766	人工	10,626	人工		人工		人工		人工
正規	10,766	1.4	10,626	1.4						
嘱託	0		0							
合計コスト +	94,354		149,829							
前年度比	-		158.8%							

事務事業評価票

事務事業名	負担金 (国、県の河川、砂防事業)
-------	----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

河川の増水や土石流などの災害の発生を未然に防ぎ、住民を洪水災害から守るため。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

国・県の砂防・河川事業の円滑な事業推進が図られるよう関係者等の調整を図ります。また、河川・砂防の建設及び整備を促進するため同盟会を窓口とし、国・県等への要望活動を実施しています。

- 1 犀川・梓川流域の砂防事業
- 2 奈良井川流域の河川整備事業
- 3 同盟会
 - (1) 奈良井川水系河川改良促進期成同盟会
 - (2) 長野県治水砂防協会松塩筑支部
 - (3) 信濃川・姫川水系砂防工事規制同盟会

< 現状に対する認識 >

・砂防、河川事業は、河川環境の改善、防災・減災の観点から重要な事業であるため、今後も、国・県に積極的な要望を継続する。

部局名	建設部	課名	建設総務課	課CD	0810000
-----	-----	----	-------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	河川・砂防事業を促進するための事業であるが、事業主体の国・県から				
指標の設定理由	目標値が示されないため、指標の設定が困難				
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	970		1,486							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	970		1,486							
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工		人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4						
嘱託	0		0							
合計コスト +	4,046		4,522							
前年度比	-		111.8%							

都市政策課

課長 桐沢 明雄

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	許認可事務(都市計画法第53条の許可、地区計画他)
-------	---------------------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

良好な都市環境、秩序ある市街地の形成を図るため、必要な許認可を行い合わせて指導、助言する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

都市計画法第53条	29件
都市計画法第58条	8件
都市計画法第58条の2	79件
建築計画協議	291件
都市計画証明	32件
立地適正化計画	2件
開発協議	40件
開発審査会	5件
大規模小売店舗立地法	2件
国土利用計画法	21件
公有地拡大法	8件
農振除外事前協議	11件
空き家	6件
建築審査会	1件

申請に対し適切な審査・指導・助言を行う

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	対応件数(許認可業務のため目標設定は不適切)				
指標の設定理由					
目標値					
実績値	535	535			
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		0							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	4,438	人工	4,235.8	人工		人工		人工		人工
正規	4,153	0.54	3,946.8	0.52						
嘱託	285	0.1	289	0.1						
合計コスト +	4,438		4,236							
前年度比	-		95.5%							

事務事業評価票

事務事業名	窓口、電話対応事務
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

良好な都市環境、秩序ある市街地の形成を図るため、都市計画に係る問合せや相談に対応する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

問合せ、相談

< 現状に対する認識 >

問合せ及び相談等に対し適切な対応を行う。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	対応件数(相談業務のため目標設定は不適切)				
指標の設定理由					
目標値					
実績値	1760	1775			
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		0							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	4,107	人工	4,297.1	人工		人工		人工		人工
正規	3,537	0.46	3,719.1	0.49						
嘱託	570	0.2	578	0.2						
合計コスト +	4,107		4,297							
前年度比	-		104.6%							

事務事業評価票

事務事業名	都市計画策定事業(基本図更新)
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H19~

計画的土地利用による快適な都市の形成をめざすため、測量法に基づき、都市計画の基本となる松本市基本図の更新整備を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市内を分割し定期的に基本図の修正を行う。
庁用の都市計画図を作成するとともに頒布を行う。

< 現状に対する認識 >

建設部独自のGISを運用していたが、今後は全庁型GISへ移行する。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地図更新面積				
指標の設定理由	計画的更新が必要であるため。				
目標値	45.00	45.12	51.01	46.42	23.11
実績値	45.00	45.12			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	18,299	16,848			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	18,299	16,848			
人件費(千円)	1,846	1,594			
正規	1,846	1,594			
嘱託	0	0			
合計コスト +	20,145	18,442			
前年度比	-	91.5%			

事務事業評価票

事務事業名	都市計画策定事業 (村井駅周辺整備)
-------	-----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

交通結節点であるJR村井駅や周辺地域における交通利便性・快適性を高め、徒歩や自転車で自由に移動できる、安全で安心なまちづくりを実現するため交通環境改善計画を策定する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

自由通路及び駅施設整備のため、関係機関及び地元部会と協議を進める。

アクセス道路など、駅周辺整備について関係機関及び地元部会と協議を進める。

< 現状に対する認識 >

協議会の設置及び県警機関や地元部会との協議により、概略設計を進める。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	村井駅利用者数(1日当たり平均値)				
指標の設定理由	駅及び周辺施設の利便性向上を図るため				
目標値	3,402	3,552	3,600	3,600	3,600
実績値	3,402	3,552			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		28,512							
国・県			8,856							
利用者負担金										
その他										
一般財源			19,656							
人件費(千円)	1,615	人工	2,429	人工		人工		人工		人工
正規	1,615	0.21	2,429	0.32						
嘱託	0		0							
合計コスト +	1,615		30,941							
前年度比	-		1916.0%							

事務事業評価票

事務事業名	都市計画策定事業 (都市計画道路の見直し)
-------	--------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H23~

既存道路ネットワークの有効利用を図り、効率的・効果的な道路整備を行うため都市計画道路の見直しを行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

全体道路網及び内環状線構想の状況整理と見直しの方針について分析検討

< 現状に対する認識 >

方針案に基づき庁内調整、関係機関調整を進める。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	都市計画道路の整備率(%)				
指標の設定理由	見直しにより効果的な整備促進を図るため。				
目標値	40.2	40.8	41.4	41.9	42.5
実績値	40.2	41.9			
達成度	100.0%	102.7%	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		4,801							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			4,801							
人件費(千円)	5,844	人工	5768.4	人工		人工		人工		人工
正規	5,844	0.76	5768.4	0.76						
嘱託	0		0							
合計コスト +	5,844		10,569							
前年度比	-		180.8%							

事務事業評価票

事務事業名	都市計画策定事業(空き家対策)
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

住宅マスタープランの実現化に向けた住宅・宅地ストックの活用と流通の促進及び管理不適切な空き家の集積により悪化する居住環境の改善を図るため、空き家活用リストを作成し、今後の空き家対策事業の基礎資料とする。窓口統一により、関係部署との連携を深め対策を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

長野県事業である、まち中リノベーション推進事業により空き家見学会の開催。
都市政策課に総合窓口を設置し、関係部署との連携により、空き家等対策計画の策定を進める。

< 現状に対する認識 >

空き家・空き地が増加している中で、実態が把握を進める。空き家等対策計画を策定し、庁内関連部署との連携により、総合的な対策を推進する。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれていると思う市民の割合				
指標の設定理由	まちなみにそぐわない空き家等の整理・利活用を促進するため。				
目標値	80.8	80.8	80.8	80.8	80.8
実績値	80.8	-			
達成度	100.0%				
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	0	0			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源					
人件費(千円)	846	人工	2,581	人工	人工
正規	846	0.11	2,581	0.34	
嘱託	0		0		
合計コスト +	846		2,581		
前年度比	-		305.1%		

事務事業評価票

事務事業名	都市計画策定事業費(都市再生整備計画・松本城三の丸物語)
-------	------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H26～

「松本城を中心としたまちづくり」として、博物館移転と一体となり魅力的で、回遊性に富む賑わいのあるまちづくりのため、地域資源の魅力を活かした都市再生整備計画を策定し、中心市街地の活性化を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本駅を中心とした都市再生整備計画策定に向けた協議

< 現状に対する認識 >

松本城を中心としたまちづくりに向け、一体となったまちのにぎわい創出に向けた取組みや、都市機能の再配置や環境整備が必要。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	エリア内歩行者交通量(6月第1日曜10時～19時)				
指標の設定理由	回遊性を向上させ、歩きたくなる空間整備を推進するため。				
目標値	7,142	7,692	8,241	8,790	9,339
実績値	9,110	9,551			
達成度	127.6%	124.2%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	1,857		8,850							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,857		8,850							
人件費(千円)	4,076	人工	4,023	人工		人工		人工		人工
正規	4,076	0.53	4,023	0.53						
嘱託	0		0							
合計コスト +	5,933		12,873							
前年度比	-		217.0%							

事務事業評価票

事務事業名	松本市都市計画マスタープラン (区域区分見直し・用途地域)
-------	----------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

第7回定期線引き見直しに向け、適正かつ計画的な土地利用を誘導・実現するため、区域区分及び用途地域の見直しを行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

区域区分、用途地域の見直し。

< 現状に対する認識 >

PDCAサイクルを踏まえ、集約型都市構造実現に資する施策の推進を図る。立地適正化計画の方針も踏まえ、将来ビジョンをきめ細かく定め都市計画の基本方針としていく。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	周辺の自然や農地とのバランスがとれた開発が行われていると思う市民の割合				
指標の設定理由	松本の目指すまちの姿の実現を促すため				
目標値	50.2	52.7	55.1	57.6	60
実績値	50.2	-			
達成度	100.0%				
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		2,268							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			2,268							
人件費(千円)	1,000	人工	3,036	人工		人工		人工		人工
正規	1,000	0.13	3,036	0.4						
嘱託	0		0							
合計コスト +	1,000		5,304							
前年度比	-		530.6%							

事務事業評価票

事務事業名	都市計画審議会
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

都市計画法に基づき各種都市計画に関する調査審議を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 第48回 議題:松本都市計画地区計画(村井町南)の決定
報告:松本市立地適正化計計画策定に向けた取組み
松本城大手門駐車場の変更に向けた取組み
- 第49回 議題:松本城大手門駐車場の変更
報告:松本市立地適正化計計画策定に向けた取組み
第7回区域区分見直しについて

< 現状に対する認識 >

--

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	開催回数				
指標の設定理由	都市計画に定めるべき案件の協議のため				
目標値	4	4	4	4	4
実績値	2	2			
達成度	50.0%	50.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	153	144			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	153	144			
人件費(千円)	1,538	1,518			
正規	1,538	1,518			
嘱託	0	0			
合計コスト +	1,691	1,662			
前年度比	-	98.3%			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	都市計画基礎調査
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

都市計画法に基づき、概ね5年度とに人口、土地利用などの現況及び将来の見通しについて調査する。その結果については利用可能な情報化を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

土地利用、建物利用の現況等を把握し、土地利用計画や用途地域の見直し等の都市計画の基礎的データを整備するもの

< 現状に対する認識 >

第7回定期線引き見直しに向け調査結果を基に関係機関との協議を進める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	周辺の自然や農地とのバランスがとれた開発が行われていると思う市民の割合				
指標の設定理由	松本の目指すまちの姿の実現を促すため				
目標値	50.2	52.7	55.1	57.6	60
実績値	50.2	-			
達成度	100.0%				
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		6,901							
国・県			3,781							
利用者負担金										
その他										
一般財源			3,120							
人件費(千円)	154	人工	1138.5	人工		人工		人工		人工
正規	154	0.02	1138.5	0.15						
嘱託	0		0							
合計コスト +	154		8,040							
前年度比	-		5227.2%							

事務事業評価票

事務事業名	立地適正化計画策定
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

集約型都市構造を構築するため、H26年度に制度化された立地適正化計画や都市再生整備計画を策定し、土地利用誘導を図り持続可能なまちづくりを進める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

都市全体の観点から、居住や福祉・医療・商業等の都市機能を誘導するため、区域や施設、誘導施策をまとめ、コンパクトシティ・プラス・ネットワークによる集約型都市構造の実現を図る。(都市計画マスタープランの具現化)

計画内容
 ・平成28年度に都市機能誘導区域の設定し平成29年度は居住誘導区域設定のために市民会議、地元説明会の開催

< 現状に対する認識 >

市民会議の開催や市民への説明会を通して、平成30年度末までに居住誘導区域を設定する。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	中心5地区人口(人口減少率の低減)				
指標の設定理由	都市機能を維持誘導するために人口密度の確保が必要				
目標値	14,760	14,662	14,564	14,466	14,368
実績値	14,134	13,999			
達成度	95.8%	95.5%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	5,724	6,868			
国・県	2,862	2,300			
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,862	4,568			
人件費(千円)	13,381	16,319			
人工	1.74	2.15			
正規	13,381	16,319			
嘱託	0	0			
合計コスト +	19,105	23,187			
前年度比	-	121.4%			

事務事業評価票

事務事業名	駐車場配置適正化計画
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

歩いて暮らせる魅力的なまちづくり、中心市街地を活性化するために駐車場に係る施策を検討・策定する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

駐車場配置適正化区域を定め、立地適正化計画に位置付ける。
歩行者が安全安心に回遊することが出来るよう、路外駐車場配置等基準策定パークアンドライド駐車場、フリンジ駐車場など駐車場に係る基本計画の策定

< 現状に対する認識 >

松本城を中心としたまちづくりの将来都市像に合わせ、駐車場配置適正化区域を立地適正化計画に位置付ける。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	まちなか歩行者数(次世代交通政策指標)				
指標の設定理由	歩いて暮らせるまちづくりとして、まちなかの回遊性向上を図るため				
目標値	38,600	39,300	40,000	40,700	41,500人/9h
実績値	42,000	15,100			
達成度	108.8%	38.4%	0.0%	0.0%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	1,792		4,104							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,792		4,104							
人件費(千円)	2,615	人工	2,581	人工		人工		人工		人工
正規	2,615	0.34	2,581	0.34						
嘱託	0		0							
合計コスト +	4,407		6,685							
前年度比	-		151.7%							

事務事業評価票

事務事業名	地区計画
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

地域の特性を活かした魅力あるまちづくりのため、地区計画を策定し建築行為等の誘導・規制を行い、住環境を保護する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

平成29年度 村井町南地区において地区計画を策定

< 現状に対する認識 >

--

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地区計画の策定箇所面積(ha)				
指標の設定理由	中小土地区画整理事業整備計画				
目標値	286	290.9			
実績値	286	290.9			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		0							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	6,075	人工	6,148	人工		人工		人工		人工
正規	6,075	0.79	6,148	0.81						
嘱託	0		0							
合計コスト +	6,075		6,148							
前年度比	-		101.2%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	民間開発の調整
-------	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	都市計画策定事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

松本の目指すまちの姿に実現に向けた適正な開発を促す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

大型店開店に向け、松本のまちづくりに関する基本的な考えに基づいた開発を促すとともに、次世代交通政策による交通対策の促進

< 現状に対する認識 >

自動車の総量抑制を図るため、公共交通機関の利用促進を図る。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	周辺の自然や農地とのバランスがとれた開発が行われていると思う市民の割合				
指標の設定理由	松本の目指すまちの姿の実現を促すため。				
目標値	50.2	52.7	55.1	57.6	60
実績値	50.2	-			
達成度	100.0%	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		0							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源										
人件費(千円)	4,076	人工	5,996	人工		人工		人工		人工
正規	4,076	0.53	5,996	0.79						
嘱託	0		0							
合計コスト +	4,076		5,996							
前年度比	-		147.1%							

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業(屋外広告物条例の推進)
-------	--------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本の良好な景観の保全や誘導を行うため

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

景観の重要な構成要素である屋外広告物の適正表示と良好な景観形成への誘導を図るため、許可物件の許可事務及び違反对応を行うもの。

・許可申請数
 (H28許可実績 262件)
 (H29許可実績 436件)
 申請数のため、目標設定は不適切

< 現状に対する認識 >

事務量が増大しており、これ以上の対応は難しい。
 特に違反对応については多くの人手と時間、経費が必要
 対応人員を増加するか、事務の抜本的見直しが必要。
 中核市移行の際には制度設計を見直す必要がある。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	71.70%	調査年度ではないため実績値なし			
達成度	102%	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		86							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			86							
人件費(千円)	3,789	人工	11,236	人工		人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	9,791	1.29						
嘱託	713	0.25	1,445	0.5						
合計コスト +	3,789		11,322							
前年度比	-		298.9%							

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業(景観計画の推進)
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本の良好な景観の保全や誘導を行うため、景観計画に基づき事業を推進するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

良好な景観形成を図るため、景観計画で定めた行為の制限事項について、必要な届け出の審査に係る事務・指導・助言を行い、景観計画の周知や内容の検討・研究をする。
平成29年度は部会を設置し、集中的に景観討議を行った。また、景観事前協議制度を開始した。

(景観審議会・評価会・調整)
・景観計画に基づく届出
(H28実績 207件)
(H28実績 172件)

< 現状に対する認識 >

景観計画策定後10年が経過しようとしているが、計画にPDCAサイクルが含まれていないため、適切な見直しの設定が必要

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	71.70%	調査年度ではないため実績値なし			
達成度	102%	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	289		435							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	289		435							
人件費(千円)	6,460	人工	8,653	人工		人工		人工		人工
正規	6,460	0.84	8,653	1.14						
嘱託	0		0							
合計コスト +	6,749		9,088							
前年度比	-		134.7%							

事務事業評価票

事務事業名	新市街地開発事業 (中小土地区画整理事業(補助金))
-------	-------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	新市街地開発事業

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

S63~H33

土地区画整理法第3条第1項、第2項の施行者に対して、技術援助及び補助金の交付を行うことで、「健全な市街地の造成を図り、もって公共の福祉の増進に資する」ため

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

土地区画整理事業により、地区の特性を活かした住環境を整備し、健全な市街地の造成を図るため、条件を満たした区画整理組合に対して、技術援助及び補助金の交付を行う

H29年度の状況

(単位:千円)

地区名	ha	実施事業内容	事業費	市補助金
両島	3.1	調査設計に要する経費(補助率100%)	5,454	5,454
		舗装新設工に要する経費(補助率100%)	20,358	20,358
村井町南	5.0	埋文調査に要する経費(補助率60%)	5,550	3,330
		区画造成工事に要する経費(補助率30%)	80,300	24,090
惣社	2.9	調査設計に要する経費(補助率100%)	9,396	9,396
		埋文調査に要する経費(補助率60%)	27,200	16,320
		調査設計に要する経費(補助率100%)	3,683	3,683
岡田東	1.0	区画造成工事に要する経費(補助率30%)	35,460	10,638
		埋文調査に要する経費(補助率60%)	3,240	1,944
計	12.0		30,888	30,888
			221,529	126,101

< 現状に対する認識 >

事業計画面積のうち、中止地区を除いて約9割が完了し、技術援助及び補助金交付についても見直しを行った。
 今後は施行中地区の早期完了を目指して、技術援助を行う。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	組合施行事業整備面積(ha)				
指標の設定理由	区画整理(組合施行)実施状況に対する、達成度評価が容易である				
目標値	221.6	221.6	224.7	232.7	233.2
実績値	221.6	221.6			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	136,810	126,101			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	136,810	126,101			
人件費(千円)	25,920	25,660			
人工	3	3			
正規	23,070	22,770			
嘱託	2,850	2,890			
合計コスト +	162,730	151,761			
前年度比	-	93.3%			

事務事業評価票

事務事業名	街なみ修景事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	街なみ修景事業

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	9 「三ガク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち		主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
				松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度	H元～
--------	-----

修景補助により良好な街なみ形成を促すもの。特に松本城三の丸地区では、博物館の移転、南西外堀復元など、大型公共事業が予定されているため、まちづくり協定を活用した民間活力導入など、松本城三の丸地区整備基本方針に基づいた一体的な整備を促進するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

まちづくり協定に基づき建物のファサード(道路に面する正面の部分)修景を行う場合に整備費用に対して一部補助を行うもの。(補助額 整備費2/3 上限300万円)

今回はお城周辺地区まちづくり推進協議会第2ブロックを対象に、まちづくり協定に基づき修景補助を行う。

活動指標は、補助件数をもって行うが、補助の有無にかかわらず、街なみ修景基準を普及し、良好な景観形成を目指す。

・H29は建築士会に委託し、修景基準案をまちづくり推進協議会へ提示した。

< 現状に対する認識 >

すでに、整備事業に基づく移転補償が始まっているため、速やかに事業を開始する。

< 指標の達成状況 >

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	景観に配慮した三の丸協定区域内のファサードの増加数					
指標の設定理由	ファサードの修景により良好な街なみの形成が図られるため					
目標値	0.0	0.0	3.0	8.0	13.0	
実績値	0	0				
達成度	-	-				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	0	1,792			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		1,792			
人件費(千円)	0	人工 1,594	人工	人工	人工
正規	0	0	1,594	0.21	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	0	3,386			
前年度比	-				

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業費(松本市景観賞実施事業)
-------	---------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

景観形成に資する建築物やまちなみ、活動などを表彰することで、松本の良好な景観の保全や誘導を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市景観賞実施事業
 松本らしい優れた景観に寄与する建造物や活動を表彰し、シンポジウムなどで紹介することで良好な景観形成に対する市民意識の高揚を図る。
 平成29年度は個々の見つけた景観を写真と短文で紹介する「フォトエッセイ」を試行した。
 ・景観賞応募件数
 (H28実績 20件)
 (H29実績 23件)

< 現状に対する認識 >

事業開始後30年が経過し、新たな手法を試行している。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	71.70%	調査年度ではないため実績値なし			
達成度	102%	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	820		675							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	820		675							
人件費(千円)	3,614	人工	3,719	人工		人工		人工		人工
正規	3,614	0.47	3,719	0.49						
嘱託	0		0							
合計コスト +	4,434		4,394							
前年度比	-		99.1%							

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業費(歴史まちづくり事業)
-------	--------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本城を中心とした城下町松本を維持向上し、良好な景観の保全や誘導を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

・歴史まちづくり事業
松本市歴史的風致維持向上計画に基づき、近代遺産の大切さを景観の視点から再確認し、将来に向けて保存活用することで、歴史的風致の維持向上を図り、城下町松本の再生を目指す。

・計画進捗管理
歴史的風致維持向上計画における庁内各部所管事業を進捗管理により把握

・独自事業
松本市近代遺産：重点区域内において、50年を経過した建築物等で歴史的価値があり、指定文化財以外のものを指す。平成28年に70件、平成29年度に51件を登録した。

< 現状に対する認識 >

独自事業と計画進捗管理とで業務内容に大きな違いがある。独自事業にあたっては、文化財課の進める歴史文化基本構想との相関を整理する必要がある。

計画進捗管理にあたって、庁内横断的なプロジェクト進行を促す必要がある。平成32年度に計画期間が満了するため、今後二期計画について国及び庁内の調整を図る必要がある。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	71.70%	調査年度ではないため実績値なし			
達成度	102%	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	2,778		185							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,778		185							
人件費(千円)	5,620	人工	5,432	人工		人工		人工		人工
正規	5,306	0.69	5,085	0.67						
嘱託	314	0.11	347	0.12						
合計コスト +	8,398		5,617							
前年度比	-		66.9%							

事務事業評価票

事務事業名	景観形成事業費(公共案内サイン整備事業)
-------	----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	景観形成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

公共により市街地に案内サインを設置することで、観光客を含む来街者すべてにおもてなしの心を伝えとともに松本の良好な景観の保全や誘導を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

・公共案内サイン整備事業
 平成15年に「松本市公共案内サイン基本計画」を策定しています。これに基づき、多様な市民や来訪者が安心して目的地を目指せるようユニバーサルデザインに沿った案内サインへと改良し、回遊性を高め中心市街地の活性化を図るもの。
 ・H28は庁内調整の上、施設の外国語表記について検討を行った。
 ・H29は市内に設置したサインの更新を行い、表示面の刷新、設置ヶ所の修正等をおこなった。今後は5年に一度定期的に整備を行う。

< 現状に対する認識 >

海外からの観光客のみならず、住民を含んだ来街者全体に必要な情報を提供する位置づけを強化する必要がある。
 独自サインや名称の多言語化等共有すべき情報が多く、周知が必要。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている(市民満足度)				
指標の設定理由	景観の良化を定量的に評価することが困難なため				
目標値	70%	70%	70%	70%	70%
実績値	71.70%	-			
達成度	102.4%	-	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		4,028							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		4,028							
人件費(千円)	912	人工	828	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	683	0.09						
嘱託	143	0.05	145	0.05						
合計コスト +	912		4,856							
前年度比	-		532.7%							

事務事業評価票

事務事業名	市街地開発事業費(施設管理事業 (水めぐりの井戸管理事業))
-------	-----------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

まつもとのまちを形成する核であり、市民共有の宝である松本城を保存し、城下町に暮らす市民の誇りを守り育て、「松本城を中心としたまちづくり」を通じた、品格のある街をめざします。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

・施設管理事業((仮称)大手門枳形広場)
松本城の大手門位置に遺構が出土し、埋め戻し保護されている。調査が実施されたのが遺構の一部であるため、調査終了までの間、中心市街地の広場として管理を行っている。

・施設管理事業(中町蔵の会館、下町会館)
中心市街地のまちづくりのために整備した中町蔵の会館、下町会館はともに地元で指定管理をおこなっており、適切な施設管理を支援する。

・施設管理事業(水めぐりの井戸整備事業)
市が整備した井戸を良好な状態に保つため維持簡易を実施する。

・井戸維持管理箇所数
(H29実績 14件)

< 現状に対する認識 >

(仮称)大手門枳形跡広場は暫定的な取扱いであり、条件が許せば早期の条例設置の必要がある。
中町蔵の会館、下町会館は利用料金による指定管理であり、市の財政負担は無い。今後も地元の積極的な運営を支援する。
井戸に関しては、今後も計画的な維持更新に努める。

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略	コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
指標の設定理由	施設管理の実態が市民に浸透しているか定量的に評価するため				
目標値	76%	76%	76%	76%	76%
実績値	64.70%	-			
達成度	85.1%	-	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	5,920		4,426							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,920		4,426							
人件費(千円)	5,529	人工	5,526	人工		人工		人工		人工
正規	4,076	0.53	4,023	0.53						
嘱託	1,454	0.51	1,503	0.52						
合計コスト +	11,449		9,952							
前年度比	-		86.9%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	歩いてみたい城下町整備事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

22 ~ 32

まつもとのまちを形成する核であり、市民共有の宝である松本城を保存し、城下町に暮らす市民の誇りを守り育て、「松本城を中心としたまちづくり」を通じた、品格ある街をめざします。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

・歩いてみたい城下町整備事業
 良好なまちなみ景観を創出するため、ワークショップ等を実施し、利用者等の意見を反映しながら道路の美装化、高質化を行う。
 ・整備路線(H29実績 2路線 L=268m)

< 現状に対する認識 >

・計画期間の満了が近づいているが、実施が間に合わないと思われるため、計画期間延長又は2期計画の策定が必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている(市民満足度)				
指標の設定理由	施設整備の実態が市民に浸透しているか定量的に評価するため				
目標値	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0
実績値	61.5	-			
達成度	80.9%	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	25,303		100,920							
国・県	12,385		41,470							
利用者負担金										
その他										
一般財源	12,918		59,450							
人件費(千円)	7,756	人工	7,659	人工		人工		人工		人工
正規	7,613	0.99	7,514	0.99						
嘱託	143	0.05	145	0.05						
合計コスト +	33,059		108,579							
前年度比	-		328.4%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	都市政策課	課CD	08130000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独 歩いてみたい城下町整備事業
-------	---------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市街地開発事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

まつもとのまちを形成する核であり、市民共有の宝である松本城を保存し、城下町に暮らす市民の誇りを守り育て、「松本城を中心としたまちづくり」を通じた、品格ある街をめざします。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

・歩いてみたい城下町整備事業
社会資本総合整備交付金事業実施エリアに接する歩行者の往来が多く安全の確保と賑わいの創出を図るべき箇所をワークショップ等を実施し、利用者等の意見を反映しながら単独事業により道路の美装化、高質化を行う。
・整備路線(市道2542号線(日の出町通り)道路整備工事 L=123m)

< 現状に対する認識 >

拡幅を伴わない現況車道の幅員構成変更によって歩行空間を構築するが、現況幅員が狭い箇所は安全な歩行空間の幅員確保が出来ない場所がある。
幅員が狭い上、車道路肩に街灯、電柱等が設置されている箇所が点在し、安全確保が出来ない場所があるため、管理者と協議を実施し移設等の検討が必要。

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	
主な取り組み		
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりがおこなわれている。(市民満足度)				
指標の設定理由	施設整備の実態が市民に浸透しているか定量的に評価するため				
目標値	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0
実績値	64.7	-			
達成度	85.1%	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		9,665							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			9,665							
人件費(千円)	0	人工	7,659	人工		人工		人工		人工
正規	0	0	7,514	0.99						
嘱託	0	0	145	0.05						
合計コスト +	0		17,324							
前年度比	-									

交通安全・都市交通課

課長 近藤 潔

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	鉄道対策事業
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり	
				松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	鉄道対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

23 ~

上高地線整備費を補助することにより、地域・観光の足として欠かせない上高地線の存続に向けた整備を促進し、輸送力強化及び安全性を確保するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 概要
アルピコ交通上高地線の老朽化した鉄道施設の大規模改修工事を実施するにあたり、国及び県と協調して補助事業者アルピコ交通株式会社へ整備費を補助するもの

2 事業の詳細
(1) 線路設備、踏切保安設備、電車線及び通信線の改修
(2) 電柱のコンクリート化
(3) 駅構内通路警報器更新
(4) レール及びマクラギの交換

< 現状に対する認識 >

協調補助事業であるが、国・県の予算確保が厳しくなっている。
上高地線大規模改修事業計画に基づき補助をしているが、計画期間が平成31年度までとなっており、平成32年度以降の補助のあり方を検討する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	上高地線年間利用者数				
指標の設定理由	利用者を増やすことで、上高地線を存続させるため				
目標値	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
実績値	1,680,000	1,690,000			
達成度	105.0%	105.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	39,585		42,229							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	39,585		42,229							
人件費(千円)	1,538	人工	1518	人工		人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	41,123		43,747							
前年度比	-		106.4%							

事務事業評価票

作成日 平成30年8月21日

事務事業名	交通対策事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	交通対策事業費

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

交通空白地域を解消し、効率的な交通手段を確保する。
公共交通利用者の拡大とノーマイカー運動を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 評価検証
松本市地域公共交通網形成計画に位置付けられた路線の評価・検証を行う。
- 地域主導型公共交通事業
地域住民組織が主体となって運行する公共交通に対し、運行経費を助成する。
- ノーマイカー推進市民会議
持続可能な人と環境に優しいまちづくりのため、ノーマイカーデー運動を推進する。
毎年秋に行う松本ノーマイカーデーにおいて、トランジットモールを実施する。

< 現状に対する認識 >

西部地域コミュニティバスの利用者数は増加傾向にあるが、四賀・奈川地区の公共交通の利用者は減少傾向にある。
地域主導型公共交通事業を導入する地区が増加し、4路線が運行している。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	代表交通手段の自動車分担率				
指標の設定理由	自動車の利用を減らし、徒歩・自転車・公共交通での移動を促進させるため				
目標値					63.80%
実績値	68.50%				
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	16,299	33,381			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	16,299	33,381			
人件費(千円)	1,923	1,898			
正規	1,923	0.25	1,898	0.25	
嘱託	0	0	0		
合計コスト +	18,222	35,279			
前年度比	-	193.6%			

事務事業評価票

事務事業名	バス対策事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	バス対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

交通空白地域を解消し、効率的な交通手段を確保する。
中心市街地の移動は徒歩、自転車、公共交通を優先する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- バス待ち環境整備事業
バス停において、ベンチや屋根などのバス待ち環境の改善を図るとともに、バスの乗り降りしやすい環境を図る。
- バス車両更新
西部地域コミュニティバス、市営バス、四賀地域バス、南部循環線の運行に必要なバス車両を更新する。
- 地域公共交通協議会への負担金
地域公共交通を維持・活性化し、利用を促進するため、松本市地域公共交通協議会の事業を支援する。
- バス運行補助
西部地域コミュニティバス、四賀地域バス、南部循環線、四賀線、稲核線、アルプス公園線、空港・朝日線、内田線の運行を補助する。
市営バス四賀線及び奈川線を運営する。

< 現状に対する認識 >

近年、市内のバス利用者が微増傾向にある。
国の地域公共交通確保維持改善事業を活用しているが、毎年国庫補助額が減少している。

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
	主な取組み		次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
	松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	一日あたり公共交通利用者数(総合交通戦略成果指標B-1)				
指標の設定理由	利用者を増やすことで、公共交通を存続させ、移動しやすい空間を創出するため				
目標値	25,000	25,200	25,500	25,700	25,900
実績値	25,100	25,800			
達成度	100.4%	102.4%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	41,754	0			
国・県	2,813				
利用者負担金	1,949				
その他					
一般財源	36,992				
人件費(千円)	20,763	人工	0	人工	人工
正規	20,763	2.7	0		
嘱託	0	0	0		
合計コスト +	62,517	0			
前年度比	-	0.0%			

事務事業評価票

事務事業名	パークアンドライド推進事業 (JR平田駅)
-------	--------------------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	パークアンドライド推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
自動車優先社会からの転換を図り、公共交通の利用促進を図る。通勤における公共交通への乗換え促進、中心市街地への自動車流入抑制する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
満車設定を131台から133台へ変更。平成29年度は、利用者数が前年度から微増。平田駅(乗降者数1,520人/日)のパークアンドライド駐車場については、利用率が92.1%となり、平日昼間は恒常的に満車の状況にある。

＜現状に対する認識＞
平日9-17時という通勤時間帯は、恒常的に満車の状態であり、拡張する必要がある。

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み		○地域公共交通の維持と利用促進
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標		4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略		⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	施設稼働85%の利用台数(133台×365日×0.85)				
指標の設定理由	稼働率85%を超えると、満車時間が長くなるため				
目標値	41,263	41,263	41,263	41,263	41,263
実績値	43,720	44,688			
達成度	106.0%	108.3%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	-5,115	-5,434			
国・県					
利用者負担金	-10,455	-10,854			
その他					
一般財源	5,340	5,420			
② 人件費(千円)	1,154	1,139			
正規	1,154	1,139			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	-3,962	-4,296			
前年度比	—	108.4%			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	パークアンドライド推進事業 (アルピコ交通新村駅)
-------	------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	パークアンドライド推進事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		地域公共交通の維持と利用促進
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

自動車優先社会からの転換を図り、公共交通の利用促進を図る。通勤における公共交通への乗換え促進、中心市街地への自動車流入を抑制する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

駐車台数50台のうち、定期利用優先枠を31台から12台へ減らした。利用台数が、前年から1,447台/年増加した。

< 現状に対する認識 >

上高地線の利用者数を維持していくためにも、更なる利用促進、拡張が必要である。

< 指標の達成状況 >

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	施設稼働60%の利用台数(50台×365日×0.6)				
指標の設定理由	利用希望に対し、すぐに対応可能な範囲で目標値を設定				
目標値	10,950	10,950	10,950	10,950	10,950
実績値	7,940	9,387			
達成度	72.5%	85.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
事業費(千円)	819	857				
国・県						
利用者負担金	0	0				
その他						
一般財源	819	857				
人件費(千円)	0	人工	0	人工		人工
正規	0	0	0	0		
嘱託	0	0				
合計コスト +	819	857				
前年度比	-	104.6%				

事務事業評価票

事務事業名	パークアンドライド推進事業 (四賀支所・七嵐)
-------	----------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	パークアンドライド推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

自動車優先社会からの転換を図り、公共交通の利用促進を図る。
通勤における公共交通への乗換えを促進し、中心市街地への自動車流入抑制する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

四賀地区のパークアンドライド駐車場は、入庫・出庫管理ができないため、数値評価ができない。

< 現状に対する認識 >

市バスの利用増につなげたい。

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			地域公共交通の維持と利用促進
5つの重点目標	4	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	四賀地区内路線バス年間利用者数人口比(利用者数を人口で除したもの、路線はアルピコ・市営・地域バス、人口は10/1現在住民基本台帳)				
指標の設定理由	過疎地域のバス利用者数を促進するため(平成25年度実績を目標)				
目標値	13.59回/人	13.59回/人	13.59回/人	13.59回/人	13.59回/人
実績値	11.71回/人	11.04回/人			
達成度	86.2%	81.3%	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		0							
国・県										
利用者負担金	0		0							
その他										
一般財源	0		0							
人件費(千円)	1,154	人工	1,139	人工		人工		人工		人工
正規	1,154	0.15	1,139	0.15						
嘱託	0		0							
合計コスト +	1,154		1,139							
前年度比	-		98.7%							

事務事業評価票

事務事業名	総合交通戦略推進事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	総合交通戦略推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

21～

松本市総合交通戦略に位置付けられた個別の事業を進捗管理するもの
平成27年10月策定の松本市次世代交通政策実行計画(松本市総合交通戦略)に位置付けられた個別事業について、事務事業を設定し、推進委員会にて各事業の進行管理、進捗状況の報告検証を行う

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 松本市次世代交通政策実行計画(松本市総合交通戦略)冊子を印刷、配布したことにより、事業が明確化できている。

2 検討項目

コミュニティーサイクルの導入検討
小規模自転車駐車場配置
タウンズニーカーの拡充 他

< 現状に対する認識 >

総合交通戦略策定後の初年度であるので、進捗確認するものがないことから、開催はありません。
交通戦略の5年ごと見直しに向けた準備にはいります

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取り組み			次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり	
松本版総合戦略			コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	代表交通手段の自動車分担率				
指標の設定理由	自動車の利用を減らし、徒歩・自転車・公共交通での移動を促進させるため				
目標値					63.80%
実績値	68.50%				
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	2,818		94							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,818		94							
人件費(千円)	9,228	人工	9108	人工		人工		人工		人工
正規	9,228	1.2	9108	1.2						
嘱託	0		0							
合計コスト +	12,046		9,202							
前年度比	-		76.4%							

事務事業評価票

事務事業名	交通安全対策
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策費

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		地域公共交通の維持と利用促進
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

交通安全運動を市民活動として展開することを、関係団体に補助等を行うことで、団体の運営を助け、市民への啓発活動を充実する。
また、幼稚園、保育所から高校に至るまでの児童生徒に対し適時適切な安全教室等を学校等と連携しながら実施し、日常の交通安全を図る

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 交通安全教室
 - 幼稚園・保育園児・保護者等に対する交通安全教室の実施
 - 小学4年生への、自転車運転免許証の交付
 - 高校生には、スクエアドストレイト(自転車交通安全教室)を拡大実施
 - 福祉ひろば、公民館、社会福祉協議会等に対しても、要望により随時教室実施
- 啓発活動

新小学1年生に啓発物品の贈呈(ランドセルカバー)
啓発用品購入
市職員、警察、県地域振興局、市民団体協働の街頭啓発活動
- 市民団体に対する活動支援

負担金、補助金を通じた支援、事務支援を通じた支援

 - 松本市交通安全市民運動推進会議
 - 交通安全協会
 - 松本市交通安全母の会

< 現状に対する認識 >

幼保、小学校、高校の児童生徒に対する交通安全教育活動は行っているが、中学生に対して、具体的な活動を行っていないので、交通ルール遵守に関する啓発活動の充実等、検討の必要がある。
啓発活動であることから、KPI指標の設定は困難
しかし、息の長い継続的な活動が必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	交通事故死傷者数				
指標の設定理由	第10次交通安全計画に掲げる目標				
目標値	1,593人	1,513人	1,433人	1,353人	1,350人以下
実績値	1,701人	1,557人			
達成度	93.7%	97.2%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	9,318	9,164			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	9,318	9,164			
人件費(千円)	21,080	20,960			
正規	15,380	15,180			
嘱託	5,700	5,780			
合計コスト +	30,398	30,124			
前年度比	-	99.1%			

事務事業評価票

事務事業名	自転車安全利用対策
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	自転車安全利用対策費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

自転車の有効活用により、市街地に流入する自動車の絶対数を抑制し、交通渋滞の解消、市街地の賑わいを促す。
 自転車をより効率的に活用するため、秩序ある適正な自転車駐車場を整備する。また放置自転車等の撤去により、安全で快適なまちづくりを目指す。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 自転車駐車場管理(有料)
 - (1) 松本駅北自転車駐車場
 - (2) お城口広場自転車駐車場
 - (3) アルプス口自転車駐車場
 - (4) 村井駅自転車駐車場
- 2 自転車駐車場管理(無料)
 - (1) 中条自転車駐車場 (工事のため休止中)
 - (2) 南松本駅自転車駐車場
 - (3) 島内駅自転車駐車場
 - (4) 島高松駅自転車駐車場
 - (5) 平田駅前広場自転車駐車場
 - (6) 北松本駅自転車駐車場
- 3 放置自転車対策
 放置整理区域内において、警告指導を行い、撤去する。

< 現状に対する認識 >

中心市街地には、比較的小規模な自転車駐車場新設の要望に対して、検討の必要がある。
 次世代交通政策推進の観点からも、自転車の利活用は重要である。
 自転車駐車場は、設備機器の老朽化、システム定期券の製造終了のため、駐輪システム等の更新を行う。

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
	主な取組み		次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
	松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	放置自転車等撤去台数				
指標の設定理由	放置自転車対策として、計画的に自転車駐車場を整備し、安全で快適なまちづくりを目指す				
目標値	609	589	569	549	529
実績値	662	589			
達成度	92.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	7,874	20,682			
国・県					
利用者負担金	-35,883	-38,222			
その他					
一般財源	43,757	58,904			
人件費(千円)	19,225	18,975			
人工	2.5	2.5			
正規	19,225	18,975			
嘱託	0	0			
合計コスト +	27,099	39,657			
前年度比	-	146.3%			

事務事業評価票

事務事業名	歩行空間あんしん事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	歩行空間あんしん事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H19～H33

波打ち歩道の改修を中心に、市民生活に直結した道路環境の整備を図り、快適で歩きやすい歩行空間を確保する

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

波打ち歩道の改修を中心に、側溝蓋掛け、カラー舗装、点字ブロック設置等を実施し、市民生活に直結した道路環境の整備を図る。

< 現状に対する認識 >

当初計画では、概ね15年間で事業を完了する予定だったが、現状の事業費では計画期間内に改修することができない。

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
松本版総合戦略			コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	波打ち歩道の改修率				
指標の設定理由	計画改修延長に対する進捗状況を数値化				
目標値	49.0%	54.3%	59.6%	65.0%	71.0%
実績値	48.5%	52.9%			
達成度	99.0%	97.4%			
成果指標(指標名)	交通事故死傷者数				
指標の設定理由	松本市交通安全計画で目標としている数値と現状との比較				
目標値	1,608	1,544	1,479	1,415	1,350
実績値	1,701	1,557			
達成度	105.8%	100.8%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	79,045	64,433			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	79,045	64,433			
人件費(千円)	15,380	15,180			
正規	15,380	15,180			
嘱託	0	0			
合計コスト +	94,425	79,613			
前年度比	-	84.3%			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	単独交通安全施設等整備事業
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実		5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
				松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独交通安全施設等整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

事故防止及び通行空間の確保を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

交通安全施設(区画線、路面標示、防護柵、道路反射鏡、道路標識)の整備及び側溝への蓋掛け等を行い、交通の安全を図る。

< 現状に対する認識 >

各地区からの要望は、多種多様であり件数も多いため、すべての要望には対処できていない。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	交通事故死傷者数(人)				
指標の設定理由	松本市交通安全計画で目標としている数値と現状との比較				
目標値	1,608	1,544	1,479	1,415	1,350
実績値	1,701	1,557			
達成度	105.8%	100.8%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	58,653		57,346							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	58,653		57,346							
人件費(千円)	11,535	人工	11,385	人工		人工		人工		人工
正規	11,535	1.5	11,385	1.5						
嘱託	0		0							
合計コスト +	70,188		68,731							
前年度比	-		97.9%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

事務事業名	単独交通安全施設等整備事業 (自転車レーン整備事業)
-------	-------------------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち	市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み			生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実	5つの重点目標	2		次世代を育むまちづくり
			松本版総合戦略			コンパクトな都市と賑わいの創出

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独交通安全施設等整備事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H18～H33

自転車関連の事故防止を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

自転車レーン等の自転車通行空間ネットワークの整備を行うことにより、自転車関連事故の防止を図るとともに、自転車通行環境の向上を図る。

< 現状に対する認識 >

自転車利用環境の総合的な計画に基づき、計画的に整備する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	整備率				
指標の設定理由	計画整備延長に対する進捗状況を数値化				
目標値	56.6%	56.6%	63.6%	73.0%	87.6%
実績値	61.7%	61.7%			
達成度	109.0%	109.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	3,150	0			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	3,150	0			
人件費(千円)	769	0			
人工					
正規	769	0.1	0	0	
嘱託	0	0			
合計コスト +	3,919	0			
前年度比	-	0.0%			

事務事業評価票

事務事業名	単独交通安全施設等整備事業 (生活ゾーン交通安全対策事業)
-------	----------------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独交通安全施設等整備事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

H24 ~

事故防止と静かな生活環境を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

生活道路及びゾーン30やスクールゾーン区域内を通過する車両の交通量とスピードを抑制する対策を実施する。

< 現状に対する認識 >

面的に速度規制を行うゾーン30の関心が高まってきているため、設定地区の増加の可能性がある。

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
	主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	重点目標	2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地区の状況により実施するものであるため、目標値の設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	10,000		10,000							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	10,000		10,000							
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3						
嘱託	0		0							
合計コスト +	12,307		12,277							
前年度比	-		99.8%							

事務事業評価票

事務事業名	周遊バス運行事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	周遊バス運行事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

29 ~

中心市街地において、車を優先した社会の転換を図り、市民および来街者の回遊を促すため、健康や環境に配慮した交通手段を提供する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本周遊バス タウンズニーカーの運行について、市が実施主体となる。60分ピッチで運行している現行ダイヤを、20分から30分ピッチに増便して利便性を向上させる。
ニーズに合ったルートに見直す。

< 現状に対する認識 >

平成26年度の減便以降、タウンズニーカーの利用者が毎年減少していたが、増便及びルート変更により、利用者数が増加し、中心市街地を周遊するバスとしての機能が回復した。

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	334	交通のまちづくりの推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		次世代交通政策の可視化・具現化
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	タウンズニーカー年間利用者数(H29年度は8月から3月の8ヵ月間)				
指標の設定理由	利用者を増やすことで、周遊バスを存続させ、移動しやすい空間を創出する				
目標値	-	172,772	259,158	261,750	264,367
実績値	129,278	240,282			
達成度	-	139.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	0		115,980							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		115,980							
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工		人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	1,538		117,498							
前年度比	-		7639.7%							

事務事業評価票

事務事業名	交通安全対策事業 (交差点改良事業)
-------	-----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H26 ~ H31

事故の防止と交通の円滑化を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

道路形状等により、危険性の高い交差点を改良する。

< 現状に対する認識 >

県事業関連のため、県実施の主要地方道松本和田線改良工事に合わせての実施となる。(県道側の用地交渉が遅れている)
また、交付金による事業であるが、近年、国からの交付金配分が少なく厳しい状況となっている。

部局名	建設部	課名	交通安全・都市交通課	課CD	08160000
-----	-----	----	------------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	333	交通安全対策の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり	
松本版総合戦略			コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	進捗率				
指標の設定理由	全体目標数値に対しての進捗を数値化				
目標値	20.6%	20.6%	91.6%	100.0%	
実績値	4.4%	35.1%			
達成度	21.4%	170.4%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	843		80,110							
国・県			43,040							
利用者負担金										
その他										
一般財源	843		37,070							
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0		0							
合計コスト +	1,612		80,869							
前年度比	-		5016.7%							

建設課

課長 中島 英文

事務事業評価票

事務事業名	道路改良事業(社会資本)
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(社会資本)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み	生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	21 ~ 33
--------	---------

市道7003号線を改良することにより、中環状線の2車線化を推進し、市街地と郊外との連絡性の向上を図るとともに、利用する市民の利便性と安全・安心を確保する。
また、中環状線と接続する南北幹線である市道5005号線を整備する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

国の交付金を活用した幹線道路整備事業として、中環状線である市道7003号線を整備、及び、それに関連する南北幹線、市道5005号線の整備

市道7003号線(島立)……………(H28繰越分:用地補償 C= 13,775千円)
市道7003号線(島立)……………(工事(L=250m)、用地補償、補償算定
市道7003号線(島立)……………(H28繰越分:用地補償 C=125,462千円)
事業年度 H21 ~ H32
事業量 L=1,040m W=15.0m
総事業費 C=1,264,931千円

市道5005号線(笹部4丁目)
事業年度 H26 ~ H33
事業量 L=420m W=11.0m
総事業費 C=660,730千円

< 現状に対する認識 >

近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業の遅延が懸念される。

< 指標の達成状況 >

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)		周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保(事業費ベースでの進捗率)				
指標の設定理由		早期の効果発現のため事業進捗率を目標とする。				
目標値		13%	21%	21%	21%	21%
実績値		13%	21%			
達成度		100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	258,916	139,237			
国・県	142,412	76,531			
利用者負担金					
その他					
一般財源	116,504	62,706			
人件費(千円)	5,768	人工	5,313	人工	人工
正規	5,768	0.75	5,313	0.7	
嘱託	0		0		
合計コスト +	264,684	144,550			
前年度比	-	54.6%			

事務事業評価票

事務事業名	道路改良事業(防災安全)
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	道路改良事業費(防災安全)

< 事業の狙い >

事業計画年度 21 ~ 32

新たな歩道設置を含め道路整備を行うことで、利用する市民の利便性と安全・安心を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

国の交付金を活用した主要道路の歩行者の完全性確保のため、新たな歩道設置を含め2車線の道路整備

市道2522号線(巾上).....(H28繰越分:工事(L=43m)、用地補償 C= 17,902千円)

事業年度 H22 ~ H28
事業量 L=43m W=10.0m
総事業費 C=195,000千円

市道波田98号線(波田(森口)).....(H28繰越分:工事(L=362m)、補償 C= 43,116千円)

事業年度 H20 ~ H31
事業量 L=2,037m W=9.5m
総事業費 C=703,751千円

市道5520号線(渚2丁目)
事業年度 H24 ~ H32
事業量 L=160m W=9.5m
総事業費 C=158,590千円

市道2181号線(浅間温泉2丁目)
事業年度 H28 ~ H32
事業量 L=320m W=9.5m
総事業費 C=290,690千円

< 現状に対する認識 >

近年、交付金の配分が減少し、財源確保が厳しい状況が続いており、今後の事業遅延が懸念させる。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価 B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	周辺道路の交通渋滞の解消及び歩行者の安全確保(事業費ベースでの進捗率)				
指標の設定理由	早期の効果発現のため事業進捗率を目標とする。				
目標値	36%	40%	40%	40%	40%
実績値	39%	39%			
達成度	111.1%	97.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	68,378	61,018			
国・県	37,600	33,544			
利用者負担金					
その他	30,700	18,600			
一般財源	78	8,874			
人件費(千円)	13,073	7,590			
正規	13,073	1.7	7,590	1	
嘱託	0	0			
合計コスト +	81,451	68,608			
前年度比	-	84.2%			

事務事業評価票

事務事業名	過疎対策事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	過疎対策事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度 28 ~ 35

過疎対策地域の地元町会から拡幅要望のある市道を拡幅改良することにより、緊急車両が通行可能な安全・安心な生活環境を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

四賀地区(過疎対策地域)の道路整備

市道下原線(板場)・・・(工事(L=120m)、補償、用地測量 C=17,301千円)
 事業年度 H28 ~ H31
 事業量 L=210m W=4.0m
 総事業費 C=37,250千円

市道下小瀬農協線(赤怒田)
 事業年度 H30 ~ H35
 事業量 L=400m W=4.0m
 総事業費 C=116,400千円

市道向原線(反町)
 事業年度 H30 ~ H34
 事業量 L=270m W=4.0m
 総事業費 C=48,300千円

市道長越1・2号線(長越)
 事業年度 H30 ~ H35
 事業量 L=230m W=4.0m
 総事業費 C=45,400千円

< 現状に対する認識 >

地元要望により事業を進めているため、実施にあたり事業に対する合意形成に時間を要する場合がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	緊急車両がスムーズに通行出来る様に整備(事業費ベースでの進捗率)				
指標の設定理由	早期の効果発現のため事業進捗率を目標とする。				
目標値	1.4%	8.4%	8.4%	8.4%	8.4%
実績値	1.2%	8.2%			
達成度	85.8%	97.6%			

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	3,045	17,301			
国・県					
利用者負担金					
その他	3,000	17,300			
一般財源	45	1			
人件費(千円)	1,538	3,795			
正規	1,538	0.2	3,795	0.5	
嘱託	0	0			
合計コスト +	4,583	21,096			
前年度比	-	460.3%			

事務事業評価票

事務事業名	単独新設改良事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独新設改良事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

S62 ~ 35

生活道路を改良することにより、主に地元町会の利用する市民等の安全・安心な生活環境を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

地元要望のある生活道路を主に、道路整備(50路線)

H29実施

工事、用地補償、委託等 18路線 C=163,621千円
整備延長 6路線 L=665m

全体計画(実施計画第48号)

他事業関連 4路線……………(2路線)
中部縦貫自動車道関連(10箇所～)
国道19号関連 2路線
空港関連 4路線
生活道路一般 32路線……………(13路線)
交付金事業単独分 7路線……………(3路線)

< 現状に対する認識 >

地元要望により事業を進めているため、実施にあたり事業に対する合意形成に時間を要する場合がある。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	整備された生活道路の割合				
指標の設定理由	市民生活に密着した生活道路の整備進捗(整備割合)を指標とする。				
目標値	37.7%	40%	48%	56%	63%
実績値	37.7%	40%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	175,252		163,621							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	175,252		163,621							
人件費(千円)	48,434	人工	52,713	人工		人工		人工		人工
正規	47,294	6.15	48,956	6.45						
嘱託	1,140	0.4	3,757	1.3						
合計コスト +	223,686		216,334							
前年度比	-		96.7%							

事務事業評価票

事務事業名	単独橋りょう整備事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独橋りょう整備事業

< 事業の狙い >

事業計画年度 20 ~ 37

橋りょうの架け替え・補修工事を行うことにより、通行車両等の安全性を高める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

老朽化した橋りょうの架け替え・補修工事及び、地元要望のある生活道路の橋梁整備

市道7553号線 月見橋(笹部～島立)
 事業年度 H26～H31
 事業量 L=160m W=12.0m
 総事業費 C=1,860,100千円(内詳細設計分)

市道5520号線 渚橋(渚2丁目)……………(県施工事務費負担金 C=3,748千円)
 事業年度 H25～H29
 事業量 L=49m W=10.25m
 総事業費 C=415,188千円(内県施工事務費負担金分)

橋梁長寿命化事業
 事業年度 H20～
 事業量 477橋
 総事業費 C=2,318,100千円(内事業調整分)

橋梁架替事業
 事業年度 H32～
 事業量 2橋
 総事業費 C=120,000千円(内予備設計分)

市道3123号線 連岳橋 内田
 事業年度 H30～H31
 事業量 L=10m W=6.0m
 総事業費 C=41,000千円

< 現状に対する認識 >

主に、交付金事業を補充する事業
 また、橋梁の架替え等大規模事業に着手する前段階の予備設計などを実施する。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価	B
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
目標値	14	23	35	-	-
実績値	14	21			
達成度	100.0%	91.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	10,483	3,748			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,483	3,748			
人件費(千円)	0	0	0	0	0
正規	0	0			
嘱託	0	0			
合計コスト +	10,483	3,748			
前年度比	-	35.8%			

事務事業評価票

事務事業名	交通安全対策事業(防災安全)
-------	----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	交通安全対策事業(防災安全)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み	生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	25 ~ 29
--------	---------

新たな歩道設置を含め橋梁整備を行うことで、利用する市民等の安全・安心な通行を確保する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

一級河川田川の奈良井川改良事務所による河川改修計画に合わせた、関連する渚橋(市道5520号線)の整備

市道5520号線 渚橋(渚2丁目)……………(県施工工事負担金 C=35,826千円)

事業年度 H25 ~ H29
 事業量 L=49m W=10.25m
 総事業費 C=415,188千円

< 現状に対する認識 >

近年、国からの交付金の配分が少なく、事業費の確保が厳しい状況となっている。

< 指標の達成状況 >

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(事業費ベースでの進捗率)					
指標の設定理由	主体事業である「渚橋(5520号線)整備」の進捗率を指標とする					
目標値	89%	100%				
実績値	89%	100%				
達成度	100.0%	100.0%				
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	100,300	35,826			
国・県	55,150	19,089			
利用者負担金					
その他					
一般財源	45,150	16,737			
人件費(千円)	769	759			
正規	769	0.1	759	0.1	
嘱託	0	0			
合計コスト +	101,069	36,585			
前年度比	-	36.2%			

事務事業評価票

事務事業名	橋りょう長寿命化事業(防災安全)
-------	------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	橋りょう長寿命化事業(防災安全)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			

< 事業の狙い >

事業計画年度

20 ~

橋りょうの長寿命化を図ることにより、将来の架替え時期を分散させ、事業費の平準化を図る。
補修工事を行うことにより、通行車両等の安全性を高める。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

国の交付金を活用し、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋りょうの計画的な長寿命化修繕を実施、及び、更新の必要な橋りょうの架替え

橋梁長寿命化事業……(補修工事5橋 補修設計6橋 C=289,916千円)
事業年度 H20 ~
事業量 477橋
総事業費 C=2,210,680千円

橋梁架替事業
事業年度 H32 ~
事業量 2橋
総事業費 C=120,000千円

< 現状に対する認識 >

近年、国からの交付金の配分が少なく、財源の確保が厳しい状況となっており、今後の事業の遅延が懸念される。

橋梁長寿命化修繕計画は、平成30年度に見直すこととなっているため、成果指標は平成30年度までとする。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	長期的コストの縮減、安全・安心の確保(橋梁長寿命化修繕完了橋梁数)				
指標の設定理由	将来に向けた橋りょう整備の軸となる橋梁修繕完了橋梁数を指標とする				
目標値	14	23	35	-	-
実績値	14	21			
達成度	100.0%	91.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	144,007		289,916							
国・県	79,010		159,255							
利用者負担金										
その他										
一般財源	64,997		130,661							
人件費(千円)	22,473	人工	22,391	人工		人工		人工		人工
正規	20,763	2.7	22,391	2.95						
嘱託	1,710	0.6	0							
合計コスト +	166,480		312,307							
前年度比	-		187.6%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	過疎対策事業(橋りょう整備事業)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	33	住みやすさを感じるまち		主な取組み	生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	過疎対策事業費(橋りょう整備事業)

<事業の狙い>

事業計画年度	28 ~ 35
--------	---------

過疎対策地域の地元町会から拡幅要望のある市道(橋りょう)を拡幅改良することにより、緊急車両が通行可能な安全・安心な生活環境を確保する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

四賀地区(過疎対策地域)の橋りょう整備

市道保福寺線久手沢橋(保福寺)……(委託(測量設計等) C=5,260千円)

事業年度 H29 ~ H30
 事業量 L=m W=4.0m
 総事業費 C=21,220千円

<現状に対する認識>

損傷が激しい住民生活に必要な橋りょうであるため、早急な対応が必要である。

<指標の達成状況>

	総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	緊急車両がスムーズに通行出来る様に整備(事業費ベースでの進捗率)				
指標の設定理由	早期の効果発現のため事業進捗率を目標とする。				
目標値		28%	100%		
実績値		26%			
達成度		91.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度				
事業費(千円)		5,260							
国・県									
利用者負担金									
その他		5,200							
一般財源		60							
人件費(千円)		人工	380	人工		人工		人工	
正規			380	0.05					
嘱託			0						
合計コスト +	0	5,640							
前年度比	-	-							

事務事業評価票

事務事業名	単独河川改良事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独河川改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H6~

市内を流れる河川の排水系列別の整備を進め、円滑な治水・排水により市民生活の安全性を確保するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

都市化による雨水流出量の増加に対する断面確保や老朽化等による二次改良が必要な河川の整備

- 山田川……………(工事 L=51.5m C=8,122千円)
- 赤松沢……………(工事 L=10.0m C=17,258千円)
- 藤井沢……………(工事 L=10.0m C=983千円)
- 蛇川……………(工事 L=35.3m C=7,236千円)

河川現況調査(河川水路台帳修正) 1式 C=972千円
仮設排水ポンプ設置 1式 C=4,410千円

< 現状に対する認識 >

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	河川状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	53,171		40,552							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	53,171		40,552							
人件費(千円)	6,921	人工	6,831	人工		人工		人工		人工
正規	6,921	0.9	6,831	0.9						
嘱託	0		0							
合計コスト +	60,092		47,383							
前年度比	-		78.9%							

事務事業評価票

事務事業名	単独水路改修事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独水路改修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H6~

市内を流れる水路の水系別、排水系列別の整備を進め、円滑な治水・排水により市民生活の安全性を確保するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

都市化による雨水流出量の増加に対する断面確保や老朽化等による二次改良が必要な水路の整備

- 高宮水路……………(工事 L=43.1m C=3,769千円)
- 村井西水路……………(工事 L=24.0m C=1,188千円)
- 並柳地区水路……………(工事 L=82.3m C=10,660千円)
- 横田運動公園水路……………(工事 L=94.7m C=12,204千円)
- 荒町南水路……………(工事 L=52.4m C=1,285千円)
- 四ツ谷東水路……………(工事 L=9.0m C=929千円)
- 他……………(工事)

< 現状に対する認識 >

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	水路状況及び地元要望により実施しているため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	47,325	33,900			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	47,325	33,900			
人件費(千円)	7,690	7,590			
正規	7,690	7,590			
嘱託	0	0			
合計コスト +	55,015	41,490			
前年度比	-	75.4%			

事務事業評価票

事務事業名	単独雨水渠新設改良事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独雨水渠新設改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H18～H37

都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため雨水渠の整備を進めるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

雨水渠及び雨水貯留施設の整備

< 現状に対する認識 >

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)				
指標の設定理由	都市浸水被害を防止するための施設整備状況を表すのに適当であるため				
目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%
実績値	19.3%	19.3%			
達成度	100.0%	98.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	7,089	0			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,089	0			
人件費(千円)	769	0			
人工	0.1	0			
正規	769	0			
嘱託	0	0			
合計コスト +	7,858	0			
前年度比	-	0.0%			

事務事業評価票

事務事業名	雨水渠改良事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	雨水渠改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H18～H37

都市化による雨水流出量の増加に対し、放流の分散化を図り、都市浸水被害を防止するため雨水渠の整備を進めるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

雨水渠及び雨水貯留施設の整備

県第一雨水幹線……………(貯留施設 V=1,000m³ C=72,000千円、補償 1 式)
 (工事 L=116.0m C=22,486千円)
 田川第一雨水幹線……………(詳細設計 1式)
 並柳第一雨水幹線……………(工事 L=14.0m C=8,933千円、補償 1式)
 筑摩雨水幹線……………(詳細設計 1式、補償 1式)
 丸の内排水区雨水管……………(詳細設計 1式)

< 現状に対する認識 >

近年の集中豪雨や都市化による降雨時の出水量の増加により、溢水、浸水被害が発生している。

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み	震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化	
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	雨水渠整備率(整備面積/計画面積)				
指標の設定理由	都市浸水被害を防止するための施設整備状況を表すのに適当であるため				
目標値	19.3%	19.7%	19.7%	19.7%	22.5%
実績値	19.3%	19.3%			
達成度	100.0%	98.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	423,135	162,258			
国・県	211,549	81,106			
利用者負担金					
その他	195,100	81,100			
一般財源	16,486	52			
人件費(千円)	24,608	人工	24,288	人工	人工
正規	24,608	3.2	24,288	3.2	
嘱託	0		0		
合計コスト +	447,743	186,546			
前年度比	-	41.7%			

事務事業評価票

事務事業名	街路事業費(防災安全)
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	街路事業費(防災安全)

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつくまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 事業の狙い > 事業計画年度 22 ~ 43

交通の円滑化と通過交通の分散を図り、安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

都市計画道路の整備

1 継続事業

(1) 小池平田線 庄内 ……(用地補償等 C=63,740千円)
 事業年度 H25～H31
 事業量 L=253.0m W=18.0m
 総事業費 739,000千円

(2) 中条白板線 巾上 ……(用地補償等 C= 95,238千円)
 事業年度 H25～H31
 事業量 L=265.0m W=18.0m
 総事業費 1,206,950千円

(3) 南松本駅石芝線 西工区 ……(用地補償等 C=110,758千円)
 事業年度 H26～H32
 事業量 L=180.0m W=12.0m
 総事業費 512,880千円

(4) 中条白板線 白板 ……(用地測量等 C= 40,247千円)
 事業年度 H28～H35
 事業量 L=120.0m W=18.0m
 総事業費 1,329,750千円

2 新規事業

(1) 出川浅間線 薄川～惣社 ……(地元調整)

(2) 小池平田線 逢初 ……(地元調整)

< 現状に対する認識 >

(課題)
 事業化までに期間を要し、着手後も事業費の確保等早期完了が厳しい状況である。

(今後の取り組み)
 国費の種類について、内示率の良いものに変更できる事業は、変更する。

< 指標の達成状況 >

	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合				
指標の設定理由	幹線道路の中でも骨格となる都市計画道路の整備により、交通の円滑化と通過交通の分散を図る。				
目標値	75.5	76	76.6	77.1	77.6
実績値	74.8	75			
達成度	99.1%	98.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	255,679	309,983			
国・県	140,599	170,483			
利用者負担金					
その他	93,100	123,500			
一般財源	21,980	16,000			
人件費(千円)	48,832	25,958			
人工	6.35	3.42			
正規	48,832	25,958			
嘱託	0	0			
合計コスト +	304,511	335,941			
前年度比	-	110.3%			

事務事業評価票

事務事業名	単独街路事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独街路事業費

部局名	建設部	課名	建設課	課CD	08150000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度

22 ~ 43

交通の円滑化と通過交通の分散を図り、安全、安心な道路環境を確保するため、道路整備5箇年計画に基づき、幹線道路整備を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

都市計画道路の整備

1 継続事業

(1) 小池平田線 庄内 ……(不動産鑑定、委託料等 C=2,633千円)

事業年度 H25 ~ H31

事業量 L=253.0m W=18.0m

総事業費 739,000千円

(2) 中条白板線 巾上 ……(不動産鑑定、委託料等 C=5,035千円)

事業年度 H25 ~ H31

事業量 L=265.0m W=18.0m

総事業費 1,206,950千円

(3) 南松本駅石芝線 西工区 ……(不動産鑑定 C=7,516千円)

事業年度 H26 ~ H32

事業量 L=180.0m W=12.0m

総事業費 512,880千円

(4) 中条白板線 白板 ……(測量等、国費対応)

事業年度 H28 ~ H35

事業量 L=120.0m W=18.0m

総事業費 1,329,750千円

2 新規事業

(1) 第6次道路整備五箇年計画策定

(2) 出川浅間線 薄川 ~ 惣社、小池平田線 逢初 ……(地元調整)

< 現状に対する認識 >

単独街路事業は、街路事業を補完するもので、一体的なものであるため、事業の狙い、内容、成果指標等、両事業は共通である。

(課題)

事業化までに期間を要し、着手後も事業費の確保等早期完了が厳しい状況である。

(今後の取り組み)

国費の種類について、内示率の良いものに変更できる事業は、変更する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	幹線道路の整備割合				
指標の設定理由	幹線道路の中でも骨格となる都市計画道路の整備により、交通の円滑化と通過交通の分散を図る。				
目標値	75.5	76	76.6	77.1	77.6
実績値	74.8	75			
達成度	99.1%	98.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	10,616	25,806			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,616	25,806			
人件費(千円)	1,154	人工	9,488	人工	人工
正規	1,154	0.15	9,488	1.25	
嘱託	0		0		
合計コスト +	11,770	35,294			
前年度比	-	299.9%			

維持課

課長 百瀬 信

事務事業評価票

事務事業名	地籍調査事業
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地籍調査事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~ 33

地籍を明確にするもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

四賀地区地籍調査業務
地籍の明確化を図るため、土地の実態を科学的且つ総合的に調査する

< 現状に対する認識 >

地籍調査は、国(国土庁)により推進を図ることとしているが、長野県の予算が充分確保できない状況の中、大幅な推進は厳しくなっている。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地籍調査済面積(km ²)				
指標の設定理由	地籍の明確化により、土地トラブルの解消と災害時の復旧事業が円滑に進				
目標値	8.47	8.67	8.80	8.93	9.06
実績値	8.47	8.66			
達成度	100.0%	99.9%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	7,000		7,789		0		0		0	
国・県	4,875		4,492							
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,125		3,108							
人件費(千円)	6,157	人工	6,154	人工		人工		人工		人工
正規	3,307	0.43	3,264	0.43						
嘱託	2,850	1	2,890	1						
合計コスト +	13,157		13,943							
前年度比	-		106.0%							

事務事業評価票

事務事業名	今井道の駅維持管理業務
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	今井道の駅管理委託

< 事業の狙い >

事業計画年度	～
--------	---

道の駅を利用する市民及び観光客等の利便性や安全性を確保し、施設を効率的に運営しつつサービスの向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 事業概要
県が設置した今井道の駅について、県との管理協定に基づき、市が実施する部分の施設管理を行う。
- 対象施設
駐車場、歩道、公衆便所、休憩施設
- 事業内容
委託による清掃・消耗品の補充等日常的な維持管理

< 現状に対する認識 >

施設の損傷等もあるが、利用者への憩いのスペースを提供するため、特に安全の確保に努める。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	施設の管理事業であるため、指標の設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	2,853		2,853							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,853		2,853							
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	3,622		3,612							
前年度比	-		99.7%							

事務事業評価票

事務事業名	道路橋りょう維持補修事業費 (防災安全)
-------	-------------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	道路橋りょう維持補修事業費(防災安全)

< 事業の狙い >

事業計画年度

26 ~ 30

道路法改正による道路構造物の5年に1度の定期点検義務化に対して、点検を実施し道路構造物の健全性を把握し構造物の長寿命化を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 道路構造物定期点検
5年に1度の定期点検の義務化により、重要道路構造物(橋長5m未満の橋梁、トンネル、大型ボックスカルバート、横断歩道橋)について点検を実施し、健全性を診断する。
平成29年度 L2~5mの橋梁点検 118箇所(508橋中、446橋完了)
- 舗装長寿命化事業
経年劣化が進む道路舗装について、5年に1回の定期点検(路面性状調査)を実施して「舗装長寿命化修繕計画」を策定する。更に、土質調査及び交通量調査で舗装状態を正確に把握して修繕工事を実施することで効率的な維持管理を実施する。
H26調査対象市道延長(幹線市道)L=335kmのうち、管理水準以下延長がL=112kmに上るため、修繕速度を4.5km/年以上とする。
平成29年度 L=0.6km/112km

< 現状に対する認識 >

道路の老朽化による修繕費が増大する中、定期点検に基づく計画的補修で長寿命化を図る必要がある。しかし、国からの交付金が減少しており、事業費の確保が厳しい現状である。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	構造物点検実施箇所数				
指標の設定理由	定期点検の義務対象施設総数(994箇所)に対する進捗率				
目標値	634	849	994	199	444
実績値	640	907			
達成度	100.9%	106.8%			
成果指標(指標名)	道路舗装修繕率(%)				
指標の設定理由	H26調査による管理水準以下総延長(L=112km)に対する進捗率				
目標値	0.0	4.4	8.4	11.4	16.4
実績値	0	0.5			
達成度	#DIV/0!	11.4%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	76,010	138,456			
国・県	41,800	76,139			
利用者負担金					
その他					
一般財源	34,210	62,300			
人件費(千円)	10,911	10,885			
人工	0.9	0.9			
正規	6,921	6,831			
嘱託	3,990	4,054			
合計コスト +	86,921	149,341			
前年度比	-	171.8%			

事務事業評価票

事務事業名	道路情報管理費
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	道路情報管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

道路法の規定に基づき本市が管理する市道について、道路情報を効率的に管理するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市道路台帳補正業務
 年度ごとに市道の 신설、改良、舗装等に伴い認定、変更、廃止された市道について道路台帳を補正して、図面、各種調書の更新を実施し、道路延長及び面積等の数値を掌握する。
 (H29実績 市道認定16件、変更0件、廃止0件)
 路線実延長 2,312,237m 2,317,235m
 道路敷面積 11,902,205㎡ 11,939,712㎡

< 現状に対する認識 >

調書等は地方交付税の算定基礎通知として用いるほか、国土交通省等への報告など各種調査利用している。また、建築確認等に伴う市民の閲覧も多く利用価値は極めて高い。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	道路の状況により実施するものであり、目標値設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	23,673		26,589							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	23,673		26,589							
人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工		人工		人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	29,056		31,902							
前年度比	-		109.8%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	負担金(兼用側溝・急傾斜地)
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市道の排水を兼ねた県道の道路排水施設について県で改修事業を行うもの。また、急傾斜地崩壊危険箇所として県が整備を行うものに対し工事費の一部を負担するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 県単独兼用側溝整備事業負担金
市道の排水を県が管理している水路に接続し処理しているため、工事費の50%及び事務費として工事費の11%を負担する。
- 2 急傾斜地崩壊対策事業負担金
市町村の要望により県が急傾斜地崩壊指定箇所の対策工事を行っているため、事業費の5%を負担する。

< 現状に対する認識 >

一部の費用負担で排水処理を推進できる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	県事業により実施するため、目標値の設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	5,376		7,502							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,376		7,502							
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	6,145		8,261							
前年度比	-		134.4%							

事務事業評価票

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

林道蝶ヶ原線に接している、松本市・上田市・青木村の3自治体で構成する管理委員会に対し、維持管理費の一部を負担するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

林道蝶ヶ原線管理委員会
管理団体に対し維持管理費の45%を負担する。

< 現状に対する認識 >

協議の結果、平成29年度をもって管理委員会の解散が決定した。今後の維持管理については、松本市、上田市がそれぞれの所管する道路について実施する。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	管理委員会が工事を実施するため目標設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	450		0							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	450		0							
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	1,219		759							
前年度比	-		62.3%							

事務事業評価票

事務事業名	私道舗装補助金
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

生活環境の向上を図るため、地域から整備要望のある私道等について、舗装工事費に相当する金額を補助金として交付するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業内容	利用のある私道・認定外道路等で、要綱に適合するものについて舗装工事費に相当する一定の金額を補助金として交付
2 補助対象	(1) 幅員1.8m以上の通り抜け道路 (工事費の100分の100) (2) 幅員1.8m以上、かつ、延長35m以上の袋路(工事費の100分の50) (3) 舗装工事に伴い必要となる簡易な排水構造物の設置
3 実績	546件 延長41,911m 事業費380,019千円 平成29年度 2件(向島町会、大村中・南浅間町会) 延長L=112m 面積A=422㎡ 事業費2,991千円

< 現状に対する認識 >

平成29年4月1日付で補助制度(補助対象)を一部見直し、市民サービスの向上を図った。今後は補助制度の周知及び補助金活用の推進に努める。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	地権者の合意により実施するもので、目標値の設定不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	2,829		2,991							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,829		2,991							
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	5,136		5,268							
前年度比	-		102.6%							

事務事業評価票

事務事業名	リフレッシュロード事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	リフレッシュロード事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

28～32

流通及び生活に密着した幹線道路をより心地よく、より使いやすくするため、舗装補修だけでなく、植栽・歩道・道路付属施設などを総合的に整備する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

やまびこ道路他5路線の整備
 車道: 舗装補修、側溝補修、区画線設置、交通安全施設補修
 植樹帯: 街路樹剪定、街路樹補植
 歩道: 舗装補修、縁石補修

< 現状に対する認識 >

従前の道路改良においては、車優先で整備が進められたため、歩行者や自転車への配慮が欠けている道路がある。歩行者や自転車等のすべての利用者に優しい公共空間が必要である。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	道路整備率(%) (年一億ベースの事業費目標に対する整備進捗率)				
指標の設定理由	(年一億ベースの事業費目標に対する整備進捗率)				
目標値	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
実績値	20	33.7			
達成度	100.0%	84.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	99,988		68,472							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	99,988		68,472							
人件費(千円)	23,070	人工	22,770	人工		人工		人工		人工
正規	23,070	3	22,770	3						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	123,058		91,242							
前年度比	-		74.1%							

事務事業評価票

事務事業名	駅前広場管理
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	駅前広場管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

駅前広場・自由通路を利用する市民及び旅客の安全かつ円滑な通行を確保したうえで、施設を効率的に運営しつつサービスの向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 対象施設
松本駅、北松本駅、平田駅の駅前広場及び自由通路
- 2 事業内容
 - (1) 指定管理者制度による施設管理
 - (2) 使用料金の徴収
 - ・駅前広場使用料
 - ・自家用車整理場使用料(松本駅お城口・アルプス口広場)
 - ・駅前広場タクシー駐車場使用料(松本駅お城口・アルプス口、北松本駅お城口・アルプス口)
 - (3) 昇降機の維持管理
 - ・松本駅エレベーター、エスカレーター
 - ・北松本駅エレベーター
 - ・平田駅エレベーター

< 現状に対する認識 >

不特定多数の利用者があり、経年経過による施設の損傷も進んでいる中、施設の適正な使用及び利用者の安全確保に努める。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	334	公共交通ネットワークの充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	施設の管理事業であるため、指標の設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	59,381		66,650							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	59,381		66,650							
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工		人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2						
嘱託	0	0	0							
合計コスト +	60,919		68,168							
前年度比	-		111.9%							

事務事業評価票

事務事業名	市道管理
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市道管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

関係法令(道路法、河川法等)に基づき、市民生活の基礎的インフラとして重要な施設の適切な管理を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 市道認定事務(H29実績16件)
道路法及び市道認定要綱に基づき、適正な市道認定を行う
- 市道管理事務
道路法に基づき、市道付帯設備の管理業務を行う
- 市道占用等許可業務及び料金徴収(H29許可件数4,458件 占用料106,128千円)
道路法、河川法及び市条例に基づき、市道占用の許可を行う
- 許認可事務(道路法・河川法)
道路法、河川法及び市条例に基づき許認可事務を行う
- 境界確認事務(H29実績778件)
官民界との境界確認を行う
- 特殊車両通行許可協議(H29実績997件)
法に基づき、特殊車両通行許可協議を行う
- 事故対応業務(H29賠償件数11件、自損事故対応件数240件)
道路の構造物が原因で発生した市道上の事故への賠償及び自損事故で破損した道路施設の事故処理に対応する。
- 河川防災ステーション管理業務
洪水時等の非常時における水防活動を円滑に行うとともに非常時における防災意識の向上及び地域活動の活性化を図る

< 現状に対する認識 >

・関係法令に基づき適正な管理を行う必要がある。
・道路用地登記等未処理事業については、所有権者の死亡等の場合相続が行われていないと境界立会や登記が困難である。
・賠償件数が増加しているので、道路管理に瑕疵が生じないよう市道パトロールを強化する。また、道路情報通報アプリ等による危険個所の情報収集を行い補修対応を行う。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

総合評価

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	道路の状況により実施する、また、申請により実施するものであり目標設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	47,679		43,086							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	47,679		43,086							
人件費(千円)	96,302	人工	95,465	人工		人工		人工		人工
正規	82,052	10.67	80,985	10.67						
嘱託	14,250	5	14,480	5						
合計コスト +	143,981		138,551							
前年度比	-		96.2%							

事務事業評価票

事務事業名	単独河川維持補修事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独河川維持補修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

河川を維持管理するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

河川の維持及び整備
河川の補修及び河川内の支障木等を撤去する

< 現状に対する認識 >

河川の維持管理において、緊急対応等、市民生活に直結する重要な業務である。

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	河川の状況により実施するため、目標値の設定は不適當				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	7,176		7,274							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,176		7,274							
人件費(千円)	1,054	人工	1,049	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	285	0.1	290	0.1						
合計コスト +	8,230		8,323							
前年度比	-		101.1%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	維持課	課CD	08200000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	単独道路橋りょう維持補修事業
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	332	道路整備の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独道路橋りょう維持補修事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

道路等を安全に維持管理するもの。また、冬期間の通行を確保するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 道路施設等管理業務
安全な道路施設状態を確保するため道路施設を管理する
- 道路除融雪業務
冬期間の安全な交通を確保するため、道路施設を管理する
- 老朽化や破損等の道路施設維持補修
安全な道路施設等の状態を確保するため、道路施設等を補修する

< 現状に対する認識 >

市道の維持管理において、緊急対応等市民生活に直結する重要な業務。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	道路の状況により実施するため、目標値の設定は不相当				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	1,048,992		955,988							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,048,992		955,988							
人件費(千円)	184,447	人工	182,090	人工		人工		人工		人工
正規	183,022	23.8	180,642	23.8						
嘱託	1,425	0.5	1,448	0.5						
合計コスト +	1,233,439		1,138,078							
前年度比	-		92.3%							

公園緑地課

課長 三沢 眞二

事務事業評価票

事務事業名	公園維持管理事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公園維持管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民の健全な心身を育む場として公共の福祉の増進を図るとともに、災害時における避難所として防災対策の推進するため、適正な公園施設の維持管理を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 業務委託
 - (1) 公園緑地の維持管理業務
シルバー人材センター他業務委託 (34公園)
 - (2) ゴミ収集・処分業務
(157公園 156t)
 - (3) 害虫防除駆除
(96公園 285本処理)
 - (4) 除草業務
ア 草刈 (6カ所 延べ62,300㎡)
イ 芝除草 (12カ所 102,500㎡)
ウ 植樹帯除草 (14カ所 26,450㎡)
 - (5) 松本市アルプス ドリームコースター、軟水器、電気工作物、浄化槽、時計、消防設備等の保守点検
- 2 施設の点検・維持補修
点検結果において、補修が必要となった施設の営繕及び更新

< 現状に対する認識 >

公園設備の老朽化が進んでいるため、早急な対策が必要となっている。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	公園遊具施設事故件数				
指標の設定理由	遊具施設の事故件数から適正な施設管理状況を把握できるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	6	4			
達成度	0.0%	0.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	190,228		186,183							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	190,228		186,183							
人件費(千円)	25,667	人工	25,549	人工		人工		人工		人工
正規	17,687	2.3	17,457	2.3						
嘱託	7,980	2.8	8,092	2.8						
合計コスト +	215,895		211,732							
前年度比	-		98.1%							

事務事業評価票

事務事業名	小鳥と小動物の森管理事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	小鳥と小動物の森管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

身近な動物たちとの触れ合いを楽しみ、市民の健全な心身を育む場を提供するため、適正な施設維持管理を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	施設管理業務委託 施設の維持管理と動物の健康管理
2	施設の維持補修 老朽化した設備の改修工事 ・サル山門扉改修 1式 ・モルモット舎・モクちゃんハウス改修 1式 ・猛禽舎改修 1式 ・小獣舎改修 1式

< 現状に対する認識 >

・経年による施設の老朽化が著しく、来園者からは、より観察しやすく動物の生育環境に即した施設への改修要望が寄せられている。
・飼育管理業務を行う面からも、より省力化を図った設備が求められている。
・大規模改修事業の基本構想策定予算が計上できたことから、その策定手法を早急に決定する。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	413	環境教育の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取り組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	動物園入園者数				
指標の設定理由	心身を育む動物たちと触れ合う状況を直接的に測定できるため				
目標値	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000
実績値	121,604	131,345			
達成度	67.6%	73.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	40,167		40,431							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	40,167		40,431							
人件費(千円)	2,877	人工	2,855	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3						
嘱託	570	0.2	578	0.2						
合計コスト +	43,044		43,286							
前年度比	-		100.6%							

事務事業評価票

事務事業名	緑対策
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	緑対策費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H26 ~
街中の緑を守り、緑化活動を推進するため、様々な事業を実施しながら、市民に緑化活動の意義を啓発し、緑化に対する意識を高めていくもの	

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 地区、町会、育成ボランティア団体への緑化木等の配布
- 2 市指定保存樹維持管理事業補助金制度の活用、周知
保存樹木1本につき補助率50%、補助金額上限25万円(申請件数7件)
- 3 市街地緑化推進イベントの開催(10月)
コンテナガーデン講習会、葉に触れ合う講習会、花いっぱい運動についての展示
- 4 松本市緑化推進委員協議会への支援、協力
(委員数109名、総会1回、幹事会4回、春・秋講習会、春・秋花苗配布)
- 5 樹勢相談、緑陰講座の開催
(樹勢相談19件、緑陰講座9回・90人参加)

< 現状に対する認識 >

・市指定保存樹維持管理事業補助金(交付要綱:平成28年9月21日告示)は目標値を達成しているため、次年度以降も目標値に近い数字となるよう、所有者に周知が必要である。
・花いっぱい運動と関連づけた緑化活動を実施していくことが必要である。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	市指定保存樹維持管理事業補助金予算執行率				
指標の設定理由	年間通しての補助金事業の状況から市内の緑化の数値が把握できるため				
目標値(千円)	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
実績値(千円)	548	1,345			
達成度	43.8%	107.6%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	9,817	8,948			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	9,817	8,948			
人件費(千円)	4,614	4,554			
人工	0.6	0.6			
正規					
嘱託					
合計コスト +	14,431	13,502			
前年度比	-	93.6%			

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

H26 ~

公園及び緑化の関係団体に加入することにより、国、県、他市の緑化活動の情報を共有し、業務に活かしていくもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 全国都市公園整備促進協議会
(負担金 42千円 総会、役員会、公園緑地関係資料集の送付)
- 2 灌水施設組合
(負担金 12千円 梓川ふるさと公園の水の使用 総会、役員会)

< 現状に対する認識 >

会への加入の意義やメリットについて、年度ごとに確認を行う。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	負担金予算執行率				
指標の設定理由	負担金を指標にすることにより、数値が的確に把握できるため				
目標値(千円)	169	54			
実績値(千円)	169	54			
達成度	100.00%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	169		54				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	169		54				
人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工	
正規	769	0.1	759	0.1			
嘱託			0				
合計コスト +	938		813				
前年度比	-		86.7%				

事務事業評価票

事務事業名	単独アルプス公園整備事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独アルプス公園整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度 H28～H35

心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、総合公園であるアルプス公園の施設整備及び松くい虫による被害林の整備を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 施設の改築・更新
 - マレットゴルフ場改修 1式
 - 木製デッキ撤去 1式
 - デッキ手摺更新 1式
 - 水道施設防護ルーフ設置 1式
- 旧まきば山荘管理地の施設整備
(展望広場設置 一式)
- 松くい虫被害木の除去(森林整備)
(松本市ドリームコースター施設内他伐倒処理 182本)

< 現状に対する認識 >

・子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる公園が求められている。
 ・公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、早急な対策が必要となっている。
 ・松くい虫被害が急速に広まり公園内の施設に影響を及ぼす恐れがある。
 ・松くい虫被害木の除去を計画的に実施する予定であるため、今後、除去を実施した箇所の再整備について検討する。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	アルプス公園の施設整備費率				
指標の設定理由	公園施設の整備状況が直接的に把握できるため				
目標値	3.83%	35.69%	54.46%	69.46%	93.62%
実績値	3.86%	35.60%			
達成度	100.8%	99.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	3,459		28,693				
国・県							
利用者負担金							
その他			15,600				
一般財源	3,459		13,093				
人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工		人工	人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6			
嘱託	0		0				
合計コスト +	8,073		33,247				
前年度比	-		411.8%				

事務事業評価票

事務事業名	公園施設長寿命化事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	公園施設長寿命化事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H26～H36
--------	---------

既存都市公園施設の老朽化が進んでいる状況で、維持管理におけるライフサイクルコストの軽減が求められているため、老朽化した施設の改築・更新を計画的に行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

改築・更新工事の実施
策定した長寿命化計画に基づき、施設改築・更新工事を16公園実施

< 現状に対する認識 >

公園施設及び遊具の老朽化が進んでおり、早急な対策が必要となっている。長寿命化計画未策定公園(160公園中40公園)についても、今後の維持管理を計画的に実施する必要がある。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	公園施設の改築・更新の必要な公園数				
指標の設定理由	公園施設の維持管理の状況が直接的に把握できるため				
目標値	70	55	40	31	22
実績値	70	55			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	60,009	40,003			
国・県	30,000	20,000			
利用者負担金					
その他					
一般財源	30,009	20,003			
人件費(千円)	4,614	4,554			
人工	0.6	0.6			
正規	4,614	4,554			
嘱託	0	0			
合計コスト +	64,623	44,557			
前年度比	-	68.9%			

事務事業評価票

事務事業名	単独公園整備事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独公園整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	H28～H34
心と体の健康づくりの推進に寄与する場を提供するため、都市公園の整備、補植等による緑の再整備及び都市計画法第33条により生み出された未整備緑地の整備を行うもの	

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 都市公園及び開発行為緑地の整備
既存の都市公園の再整備と未整備となっている開発行為緑地の整備
(都市公園19件、開発行為緑地3件)
- 緑の再整備
既存施設の緑地帯等に植栽木を補植 (3件)

< 現状に対する認識 >

公園施設は樹木の老木化及び遊具の老朽化が進んでいるため、早急な対策が必要となっている。

部局名	建設部	課名	公園緑地課	課CD	08230000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
基本施策(個別目標)	422	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	総事業費の公園整備率				
指標の設定理由	公園施設の整備状況が直接的に把握できるため				
目標値	8.59%	16.66%	32.54%	51.38%	70.57%
実績値	8.82%	16.85%			
達成度	102.7%	101.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	20,314	18,990			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,314	18,990			
人件費(千円)	9,228	9,108			
正規	9,228	9,108			
嘱託	0	0			
合計コスト +	29,542	28,098			
前年度比	-	95.1%			

住宅課

課長 田中 久登

事務事業評価票

事務事業名	市営住宅管理
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅管理費

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

26~30

指定管理者制度を導入し、民間の運営ノウハウ等による市民サービス向上を図り、住宅に困窮している低額所得者に低廉な家賃で住宅を提供するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 指定管理者制度の導入による市営住宅管理運営業務
市営住宅管理戸数 2,892戸(用途廃止予定302戸含む)

(1) 内訳

ア 公営住宅	36団地	281棟	2,700戸(寿B-1棟15戸増)
イ 特定公共賃貸住宅	6団地	16棟	104戸
ウ 特定目的住宅	20団地	40棟	70戸(筑摩4戸用途廃止)
エ 再開発住宅	1団地	1棟	18戸

2 指定管理者
長野県住宅供給公社
平成26年4月1日～平成31年3月31日まで

< 現状に対する認識 >

長野県住宅供給公社が指定管理者として市営住宅の維持管理を行うことにより、市域で公社が管理している県営住宅等を含めた、よりきめ細やかな市民サービスの提供が可能となっている。
市営住宅耐震化事業により、用途廃止予定住宅と移転先住宅を募集停止としているため入居率が低くなっている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年度末における入居戸数(戸)				
指標の設定理由	住宅の有効利用について指標となるため				
目標値	2,881	2,892	2,918	2,867	2,662
実績値	2,339	2,280			
達成度	81.2%	78.8%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	152,573	152,572			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	152,573	152,572			
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	
嘱託	0		0		
合計コスト +	154,880	154,849			
前年度比	-	100.0%			

事務事業評価票

事務事業名	用地施設等管理事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	用地施設等管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

福寿草ヶ丘団地等の未分譲地の景観を保全し、良好な住環境を確保するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 福寿草ヶ丘団地及び神林住宅用地の未分譲地に繁殖する雑草を除去するための草刈り業務委託

(1) 福寿草ヶ丘団地

ア 未分譲地 11区画(全50区画) 約3,500㎡

イ 緑地帯 約 900㎡

(2) 神林住宅用地(H29年度追加)

ア 未分譲地 3区画(全13区画) 約1,100㎡

イ 緑地帯 約 150㎡

< 現状に対する認識 >

未分譲地の維持管理を行い、販売促進に努める。

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	福寿草ヶ丘団地販売区画数(区画)				
指標の設定理由	分譲地の良好な住環境を維持し販売促進を図る				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	39	39			
達成度	78.0%	78.0%			
成果指標(指標名)	神林住宅用地販売区画数(区画)				
指標の設定理由	分譲地の良好な住環境を維持し販売促進を図る				
目標値		13	13	13	13
実績値		10			
達成度		76.9%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	108		258							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	108		258							
人件費(千円)	2,307	人工	3,036	人工		人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	3,036	0.4						
嘱託										
合計コスト +	2,415		3,294							
前年度比	-		136.4%							

事務事業評価票

事務事業名	市営住宅営繕
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅営繕費

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち		主な取り組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実		5つの重点目標	
				松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

市営住宅の不良個所の修繕及び設備改修等の営繕工事を行うことにより、建物の保全と安全を確保するとともに、住宅の長寿命化を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 市営住宅の維持管理のため、営繕工事等を行うもの。

(1) 市営住宅管理戸数 2,892戸(用途廃止予定302戸含む)

(2) 内訳

ア 公営住宅	36団地	281棟	2,700戸(寿B-1棟15戸増)
イ 特定公共賃貸住宅	6団地	16棟	104戸
ウ 特定目的住宅	20団地	40棟	70戸(筑摩4戸用途廃止)
エ 再開発住宅	1団地	1棟	18戸

2 営繕対象戸数 2,657戸
耐震不足等による解体予定住宅の空家戸数235戸を除く

3 「既存住宅改修事業」をH28政策経費からH29経常経費に組替

(1) 事業内容
風呂釜更新・量水器取替・揚水ポンプ更新・屋根外壁塗装・トイレ洋式化等の改修工事

< 現状に対する認識 >

高度成長期に建設された市営住宅の老朽化が進み、既存住宅のストックマネジメントがますます重要となっており、限られた予算の範囲内で計画的な営繕工事に心掛けている。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年度末における営繕対象住宅への入居戸数(戸)				
指標の設定理由	計画的な営繕工事の指標となるため				
目標値	2,701	2,657	2,643	2,592	2,387
実績値	2,339	2,299			
達成度	86.6%	86.5%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	9,966	40,198			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	9,966	40,198			
人件費(千円)	6,523	29,239			
正規	5,383	28,083			
嘱託	1,140	1,156			
合計コスト +	16,489	69,437			
前年度比	-	421.1%			

事務事業評価票

事務事業名	三世代家族支援事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	三世代家族支援事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

29～31

豊かな持続可能なまちづくりを目指し、定住人口の増加やバランスの取れた人口構成の実現及び地域の活性化として、世代間で支え合う機能を維持するため三世代同居・近居を推進するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

三世代同居・近居のための住宅取得費用の一部補助、住宅リフォーム費用及び引越し等の費用支援を行い、本市への転入による定住人口の増加や多世代同居のきっかけづくりを推進する。

1 補助金別申請件数

- (1) 住宅取得補助金 (同居・近居のための住宅取得)
同居(補助率1/10 補助限度額50万円) 19件
近居(補助率1/10 補助限度額25万円) 27件
- (2) リフォーム補助金 (同居のための住宅リフォーム)
同居(補助率1/10 補助限度額20万円) 4件
- (3) 家族奨励補助金 (同居・近居のための引っ越し費用等)
同居(補助率10/10 補助限度額20万円) 4件
近居(補助率10/10 補助限度額10万円) 6件

市外からの転入及び市分譲地(JKタウン、福寿草)を取得した場合には補助限度額にそれぞれ20万円を加算(最大90万円、(3)を除く)

< 現状に対する認識 >

平成29年6月から開始した制度であり申込件数等についての予測が困難であったが、結果としては想定以上の申請があった。
申請結果からも、同居・近居を希望する世帯が少なからずあることから、今後も事業のPRに努め、引き続き三世代同居・近居のきっかけづくりを推進する。

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実	5つの重点目標	1 健康ときずなづくり
			松本版総合戦略	

総合評価

A

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	申請件数(件)				
指標の設定理由	事業の成果を表す直接的な指標				
目標値		30	120	125	
実績値		60			
達成度		200.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)		19,947			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源		19,947			
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規		3,795	0.5		
嘱託		0	0		
合計コスト +	0	23,742			
前年度比	-	-			

事務事業評価票

事務事業名	市営住宅ストック総合改善事業
-------	----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)

< 事業の狙い >

事業計画年度

H15～H31

市営住宅の建物・設備等の延命及び良質なストック改善を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市営住宅ストック改善事業
(概要)

- 1 受水槽改修
老朽化した受水槽を計画的に改修するもの。
- 2 結露対策工事
市営住宅の結露として外壁の外断熱工事を行うもの。
- 3 防水保護層改修
市営住宅の雨漏りを防ぐため屋根、ベランダの防止工事を行うもの。
- 4 年間事業費
8千6百万円

< 現状に対する認識 >

- ・国庫交付金の状況により計画が変動している。
- ・国からの安定的な財源確保が課題となっている。

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	交付金対象事業延べ工事棟数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に把握できるため。				
目標値	46	55	61	69	77
実績値	46	62			
達成度	100.0%	112.7%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	93,132	160,935			
国・県	24,187	64,181			
利用者負担金					
その他					
一般財源	68,945	96,754			
人件費(千円)	4614	7590			
人工	0.6	1			
正規	4614	7590			
嘱託	0	0			
合計コスト +	97,746	168,525			
前年度比	-	172.4%			

事務事業評価票

事務事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地域住宅等整備事業(社会資本)

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H15～H31

老朽化した市営住宅を建替えることにより、密集した住宅街を解消し、防災上安全な住宅街にするとともに、ユニバーサルデザインに配慮した住宅を建設する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市営住宅団地建替事業
(概要)

1 寿団地建替
(1) 密集した住宅街の解消、防災上安全な住宅街の確保、ユニバーサルデザインに配慮した住宅
(2) 国土交通大臣の承認を受けた法定建替事業
(3) 事業計画
H15～22年度 A街区整備4棟125戸建設
H23～31年度 B街区整備5棟111戸建設(除去 H26年度実施96戸)

(4) 事業費
約26億6千万円

(5) 平成28年度までの実績
A街区 4棟125戸完成
B街区 2棟 36戸(B-1・2棟)完成

2 芳野町団地建替
(1) 平成11年度に計画された4棟のうち1棟(40戸)が未完成
(2) 公営住宅等長寿命化計画では、10年後の市営住宅必要戸数が充足されているため計画を当面凍結

< 現状に対する認識 >

・平成31年度完了に向けて計画的に進捗している。
・国からの安定的な財源確保が課題となっている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	寿団地建替戸数				
指標の設定理由	事業の進捗状況を直接的に把握できるため。				
目標値	146	161	188	236	
実績値	146	161			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	391,398	353,348			
国・県	192,986	176,356			
利用者負担金					
その他					
一般財源	198,412	176,992			
人件費(千円)	7,690	7,590			
正規	7,690	7,590			
嘱託	0	0			
合計コスト +	399,088	360,938			
前年度比	-	90.4%			

事務事業評価票

事務事業名	地域住宅等整備事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	市営住宅耐震化事業

部局名	建設部	課名	住宅課	課CD	08250000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	2	一人ひとりが輝き大切にされるまち
政策の方向(まちの姿)	2	安定した暮らしを続けられるまち
基本施策(個別目標)	223	生活福祉の充実

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
市長公約	主な取り組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

28~32

松本市耐震改修促進計画及び松本市公営住宅等長寿命化計画に基づき、現在の建築基準法等の耐震関係規定に適合しない耐震不足の市営住宅を順次廃止していくもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 耐震不足等の市営住宅を順次用途廃止するため、当該居住者の住替え先住戸を改修し居住者の移転費用を負担することにより事業を推進するもの

(1) 移転交渉、移転補償及び移転先住戸の改修

ア 移転対象者(対象住宅入居者)

二子団地86戸、寿団地1丁目53戸、寿団地3丁目15戸 計154戸

イ H28移転戸数

二子団地35戸、寿団地1丁目36戸、寿団地3丁目4戸 計75戸

ウ H29移転戸数

二子団地22戸、寿団地1丁目12戸、寿団地3丁目2戸 計36戸

(2) 耐震不足住宅の解体及び用地測量

ア 解体対象戸数 306戸 302戸

イ H29解体戸数 4戸

< 現状に対する認識 >

廃止にあたっては、対象者が移転先として希望する既存市営住宅の改修を行い、順次移転を行っている。

今後は移転対象者が希望する団地に空きがない等の理由により、移転が進まない場合も考えられるため、よりきめ細やかな対応により移転先を決定し事業を推進する必要がある。また、解体可能となった団地はすみやかに解体、測量を行い跡地利用を検討する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	年度末における移転完了戸数(戸)				
指標の設定理由	公営住宅の災害に対する備えについての指標となるため				
目標値	84	114	140	150	154
実績値	75	111			
達成度	89.3%	97.4%			
成果指標(指標名)	年度末における解体戸数(戸)				
指標の設定理由	公営住宅の災害に対する備えについての指標となるため				
目標値		4	1	100	201
実績値		4			
達成度	#DIV/0!	100.0%			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	68,641	36,028			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	68,641	36,028			
人件費(千円)	25,065	24,504			
正規	23,070	22,770			
嘱託	1,995	1,734			
合計コスト +	93,706	60,532			
前年度比	-	64.6%			

建築指導課

課長 齊木 康利

事務事業評価票

事務事業名	開発許可事務
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	開発行為許可事務費

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

1 都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、都市計画マスタープランや立地適正化計画等のまちづくりの将来像を示す内容を実現する手段の一つとして、適正な都市的土地利用の実現を行うもの

2 今後発生が予想される大地震時の地盤変動が要因となって、宅地の地すべり被害が生ずるおそれのある大規模盛土造成地の掌握と安全性の確認

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業実施内容]

1 都市計画法(昭和43年法律第100号)の規定による開発行為等の許可

2 大規模盛土造成地変動予測調査を実施

[活動指標(実績値)]

1 開発行為等許可等の件数 434件

2 大規模盛土造成地変動予測調査業務委託(第二次スクリーニングの計画案策定)

< 現状に対する認識 >

人口減少高齢化の進展により、空き家等の発生、将来的なインフラの維持・修繕・更新に係るコストの増大等の懸念が生じている。そのため、コンパクトシティを形成していく必要性が高まっていることから、開発許可制度はまちづくりの将来像を実現する手段として重要となってきている。

大規模盛土造成地の安定性の評価が必要

< 指標の達成状況 >

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	開発行為等許可等の件数	申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由		-				
目標値						
実績値	387	434				
達成度	-	-				
成果指標(指標名)	防災・減災対応の向上					
指標の設定理由	危機管理体制の強化による安心なまちづくりを図るため					
目標値	2.71	2.75	2.78	2.82	2.86	
実績値		2.75				
達成度	0.0%	100.0%				

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	4,013	2,696			
国・県		853			
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,013	1,843			
人件費(千円)	33,610	人工	33,256	人工	
正規	30,760	4	30,360	4	
嘱託	2,850	1	2,896	1	
合計コスト +	37,623		35,952		
前年度比	-		95.6%		

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	狭あい道路対策事業
-------	-----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約 公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち			主な取組み
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	狭あい道路対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

28～33

安全で良好な生活環境の向上を図るため、松本市狭あい道路の拡幅整備に関する条例(平成24年条例第29号)に基づき、市街化区域内にある市道の狭あい道路(幅員1.8m以上4m未満)を対象に、建築行為などの際に、後退用地についての協議を義務付け、拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路の拡幅整備の促進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業実施内容]	
1	拡幅整備に必要な経費の一部を市が負担し、狭あい道路整備の促進を図るもの
2	建築確認申請時等に協議を行い、道路後退用地の測量登記と物件補償(補助金)後に道路整備を行い、道路環境を改善
[活動指標(実績値)]	
1	寄附率 18%

< 現状に対する認識 >

住宅等建築の際に協議を行い、後退用地の寄附をお願いしているが寄附率が伸び悩んでいる状態である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	寄附率				
指標の設定理由	狭あい道路の拡幅状況を直接測定できるため				
目標値	45.0	46.0	47.0	49.0	50.0
実績値	25	18			
達成度	55.6%	39.1%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	6,929		5,452							
国・県	3,800		1,707							
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,129		3,745							
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工		人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	8,467		6,970							
前年度比	-		82.3%							

事務事業評価票

事務事業名	建築確認事務
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	建築確認事務費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

国民の生命、健康及び財産の保護を図るため、建築基準法第6条に定めた敷地、構造、設備等に適合する建築物であることを、建築主からの申請又は通知により建築主事が確認し、確認済証を交付する他、建築許可証の交付等を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業実施内容]

指導審査担当の業務を行うための事務費等

- 費用弁償(建築審査会その他開催に伴う委員等の車賃)
- 普通旅費(職員出張に伴う鉄道賃、宿泊料及び日当)
- 消耗品費(図書追録、各種法令集、各種事務用品、法改正等により業務上必要な参考図書)
- 手数料(税金等窓口収納手数料)
- 借上料(建築情報管理システム用サーバー機器一式)
- 委託料(構造計算適合性判定、建築情報管理システム保守、指定道路図管理システム保守、指定道路図作成)

[活動指標(実績値)]

- 確認済証交付件数 108件
- 許可証交付件数 64件

< 現状に対する認識 >

確認申請の9割を民間建築確認機関が行う現状の中で、数少ない市の建築確認業務を適切に行い、違反是正、定期報告、民間建築確認機関の監視等の行政庁でなければ出来ない業務に生かして行く事が大切である。

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み	震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	確認済証交付件数 申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由	-				
目標値	-	-	-	-	-
実績値	135	108			
達成度	-	-			
成果指標(指標名)	許可証交付件数 申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由	-				
目標値	-	-	-	-	-
実績値	84	64			
達成度	-	-			

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	5,007	1,599			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,007	1,599			
人件費(千円)	42,987	42,428			
正規	42,987	5.59	42,428	5.59	
嘱託	0	0			
合計コスト +	47,994	44,027			
前年度比	-	91.7%			

事務事業評価票

事務事業名	建築物耐震補強促進事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	建築物耐震補強促進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28～32

建築物の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、旧耐震基準の木造住宅等の耐震診断実施や耐震改修の補助を行います。
また、松本市耐震改修促進計画を踏まえ、要緊急安全確認大規模建築物や避難路沿道建築物の耐震化を促進するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業実施内容]	
1	木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修、避難施設耐震診断等補助
2	要緊急安全確認大規模建築物の公表
3	避難路沿道建築物調査に基づく義務化路線の検討
[活動指標(実績値)]	
1	住宅の耐震化率 82.7%

< 現状に対する認識 >

耐震診断、補強工事のニーズが高まってきているので、一層の周知と予算の確保が必要である。

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	主な取組み			震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進	5つの重点目標			
			松本版総合戦略			

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	住宅の耐震化率				
指標の設定理由	耐震化の状況を直接的に測定できるため				
目標値	83.0	85.0	87.0	89.0	90.0
実績値	82.2	82.7			
達成度	99.0%	97.3%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	18,870		18,085							
国・県	11,132		11,693							
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,738		6,392							
人件費(千円)	7,536	人工	7,438	人工		人工		人工		人工
正規	7,536	0.98	7,438	0.98						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	26,406		25,523							
前年度比	-		96.7%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	建築指導課	課CD	08300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	災害危険住宅移転事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち		主な取組み		震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
基本施策(個別目標)	322	防災・減災対策の推進		5つの重点目標		
				松本版総合戦略		

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	災害危険住宅移転事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H28~

土砂災害危険警戒区域等において、住民の生命の安全を確保するため、危険住宅を除却、解体、曳家をして移転する者に対して補助するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

[事業実施内容]

土砂災害特別警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(第9条)に規定する知事が指定した土砂災害特別警戒区域における既存不適格住宅の除却や住宅の建設事業への補助

[活動指標(実績値)]

災害危険住宅除去件数 1件(本郷地区)

< 現状に対する認識 >

申請によるため、予算措置、国県との調整等の急な対応が困難である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	災害危険住宅除去件数 申請行為のため、目標値の設定は出来ない。				
指標の設定理由					
目標値	-	-			
実績値	1	1			
達成度	-	-			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	802		802							
国・県	601		601							
利用者負担金										
その他										
一般財源	201		201							
人件費(千円)	154	人工	152	人工		人工		人工		人工
正規	154	0.02	152	0.02						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト +	956		954							
前年度比	-		99.8%							

城下町整備本部

次長 百瀬 功三

事務事業評価票

事務事業名	松本城周辺整備事業(防災安全)
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城周辺整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

23~34

観光客や市民が安心して歩ける道路空間づくりを推進し、防災拠点となる松本城公園や市役所へのアクセス性向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

内環状北線整備事業

- 1 用地取得及び条件整備
事業用地の取得(平成29年度までの事業用地取得率 60%)
- 2 用地権利者調査業務
- 3 補償再算定業務

< 現状に対する認識 >

事業完了年度が平成31年度から平成34年へ延長
防災拠点となる市役所、広域避難地である松本城公園への重要なアクセス道路となっていることから、歩行避難空間の確保、災害車両通行空間の確保が求められている。

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	0860000
-----	-----	----	---------	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み			生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略			コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	55%	64%	75%	80%	92%
実績値	55%	64%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費(千円)	299,132	100,332			
国・県	164,520	55,181			
利用者負担金					
その他	127,800	42,800			
一般財源	6,812	2,351			
人件費(千円)	16,235	16,047			
正規	15,380	15,180			
嘱託	855	867			
合計コスト +	315,367	116,379			
前年度比	-	36.9%			

事務事業評価票

事務事業名	単独松本城周辺整備事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城周辺整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

23 ~ 34

観光客や市民が安心して歩ける道路空間づくりを推進し、防災拠点となる松本城公園や市役所へのアクセス性向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 内環状北線整備事業
(1) 用地取得及び条件整備 事業用地の取得(平成29年度までの事業用地取得率 60%)
(2) 不動産鑑定業務
(3) 付帯工事
(4) 景観設計業務
(5) 内環状北線管理工事業務
2 市道1057号線整備事業
(1) 用地交渉
(2) 用地測量
(3) 地歴調査

< 現状に対する認識 >

事業完了年度が平成31年度から平成34年度へ延長
防災拠点となる市役所、広域避難地である松本城公園への重要なアクセス道路となっていることから、歩行避難空間の確保、災害車両通行空間の確保が求められている。

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	08600000
-----	-----	----	---------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	7	人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
主な取組み		生活道路の改善や親子が集う公園の整備
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		コンパクトな都市と賑わいの創出

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	55%	64%	75%	80%	92%
実績値	55%	64%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	9,290		194,349							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,290		194,349							
人件費(千円)	15,950	人工	15,758	人工		人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2						
嘱託	570	0.2	578	0.2						
合計コスト +	25,240		210,107		0		0		0	
前年度比	-		832.4%		0.0%		#DIV/0!		#DIV/0!	

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	0860000
-----	-----	----	---------	-----	---------

事務事業名	国庫補助南・西外堀復元事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	国庫補助南・西外堀復元事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三カク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度	H23 ~ H36
--------	-----------

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1. 松本城南・西外堀復元事業
 (1) 用地取得及び条件整備
 事業用地の取得(平成29年度までの事業用地取得率 48%)
 (2) 復元に向けた試掘調査
 試掘箇所:南・西外堀二の丸側

< 現状に対する認識 >

事業完了年度が平成33年度から平成36年度へ延長
 南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	33%	37%	42%	51%	67%
実績値	33%	37%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	141,787		133,434							
国・県	113,429		104,917							
利用者負担金										
その他	28,358		28,517							
一般財源										
人件費(千円)	15,950	人工	15,758	人工		人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2						
嘱託	570	0.2	578	0.2						
合計コスト +	157,737		149,192							
前年度比	-		94.6%							

事務事業評価票

部局名	建設部	課名	城下町整備本部	課CD	0860000
-----	-----	----	---------	-----	---------

事務事業名	単独南・西外堀復元事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独南・西外堀復元事業費

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	4	歴史・文化遺産を守り、活かすまち
基本施策(個別目標)	642	城下町まつもとにふさわしいまちづくり

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	9	「三カク都」で豊かな人間性を培い、自然・歴史・伝統・文化を守り育てます
主な取組み	市立博物館の移転、歴史資産の保存継承	
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

< 事業の狙い >

事業計画年度 H23 ~ H36

「松本城およびその周辺整備計画」及び、「松本市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財保護と歴史的景観の維持向上を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 松本城南・西外堀復元事業

- 用地取得及び条件整備
事業用地の取得(平成29年度までの事業用地取得率 48%)
- 補償算定等業務
- 買収後事業用地管理業務
- 代替地購入及び整備業務

< 現状に対する認識 >

事業完了年度が平成33年度から平成36年度へ延長
南・西外堀は、昭和初期までに埋め立てられて現在に至っており、遺構の保護が図られていない。松本城天守を南側及び西側から望むことができず、歴史的景観の向上を図る必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
成果指標(指標名)	事業の進捗率				
指標の設定理由	事業費で進捗を管理するため				
目標値	33%	37%	42%	51%	67%
実績値	33%	37%			
達成度	100.0%	100.0%			
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
事業費(千円)	53,210		12,700							
国・県										
利用者負担金										
その他	53,210		12,700							
一般財源										
人件費(千円)	16,235	人工	16,047	人工		人工		人工		人工
正規	15,380	2	15,180	2						
嘱託	855	0.3	867	0.3						
合計コスト +	69,445		28,747							
前年度比	-		41.4%							